

令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業（資料編）

① 令和3年度みえ森と緑の県民税基金積立金事業の構成	1
② 災害に強い森林づくり推進事業	
ア. 災害緩衝林整備事業	2
イ. 土砂・流木緊急除去事業	11
③ 森林情報基盤整備事業	15
④ 森を育む人づくりサポート体制整備事業	
ア. 森林教育体制整備事業	18
イ. みえ森づくりサポートセンター運営事業	23
ウ. 森林教育施設整備事業	32
⑤ 生物多様性推進事業	36
⑥ 森林とふれあう自然公園環境整備事業	39
⑦ みえ森と緑の県民税市町交付金事業	46
ア. みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業	
a. 流域防災機能強化対策事業	48
b. 森林再生力強化対策事業	49
イ. みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業	
a. 災害からライフラインを守る事前伐採事業	53
ウ. みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業	57
⑧ みえ森と緑の県民税制度運営事業	68

① 令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業の構成

① みえ森と緑の県民税基金積立金事業 1,112,659 千円

みえ森と緑の県民税基金事業 総額 1,140,663 千円



② 災害に強い森林づくり推進事業

三重県農林水産部治山林道課

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、県が流木災害等を軽減するため、①溪流内の危険木の除去、②流木や土砂の流下を緩和する溪流沿いの森林整備、③倒木や土砂の溪流への流入を抑制する山腹斜面での森林整備など、災害緩衝林の整備を進めます。

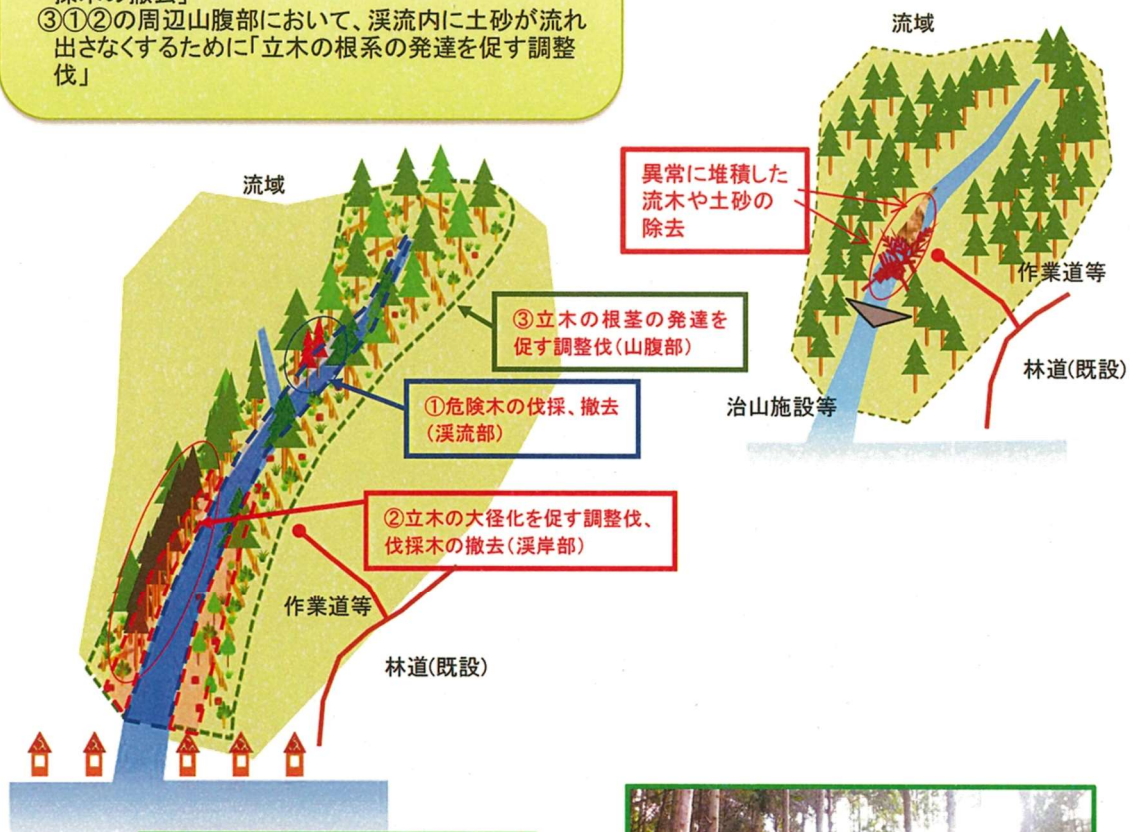
また、豪雨時に流下して下流に被害を与えるおそれのある治山施設等に異常に堆積した流木や土砂等について、除去を行います。

I 災害緩衝林整備事業

- ①溪流部において、流木になる恐れのある危険木のある下流へ流れ出さなくするために「危険木の伐採、撤去」
- ②①の周辺溪岸部において、上流からの土砂の流下を緩和するために「立木の大径化を促す調整伐、伐採木の撤去」
- ③①②の周辺山腹部において、溪流内に土砂が流れ出さなくするために「立木の根系の発達を促す調整伐」

II 土砂・流木緊急除去事業

豪雨等によって流出し人家等に被害を与える恐れのある「異常に堆積した流木や土砂等の除去」



整備前の森林状況



整備後の森林状況(紀宝町内)

災害緩衝林整備事業

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、流木災害等を軽減するため、①溪流内の危険木の除去、②流木や土砂の流下を緩衝する溪流沿いの森林整備、③倒木や土砂の溪流への流入を抑制する山腹斜面での森林整備など、災害緩衝林の整備を進めます。

<整備前の森林の状態>

流出する恐れのある危険木が存在

間伐不足で過密小径な林分

下層植生がみられず表土が流出



<整備区分 青字：立地環境 赤字：整備内容>

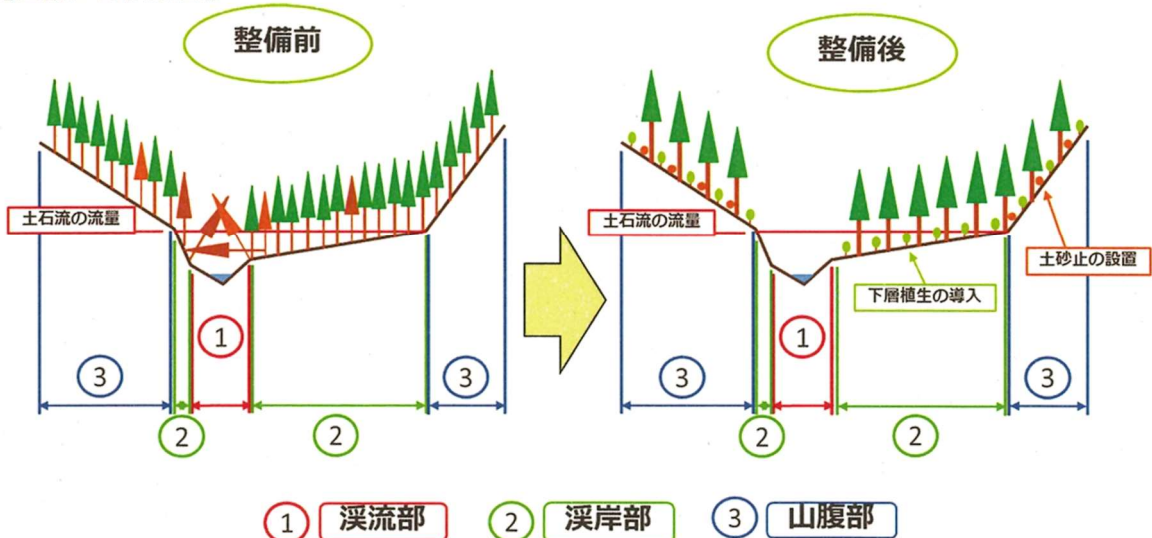
①溪流部で**危険木の除去**⇒流木発生抑制

②溪岸部で**調整伐**による立木の**大径化促進**⇒森林の抵抗力の増加⇒流木・土砂等流下緩衝

③山腹部で**調整伐**による根系の発達促進、**土砂止の設置**⇒斜面の安定化⇒流木・土砂等流出抑制



【整備区分横断図】



令和3年度 災害に強い森林づくり推進事業実施予定箇所一覧表

災害緩衝林整備事業

令和3年12月31日現在

番号	箇所番号	調査箇所			危険木除去 (m)	緩衝林整備 (ha)	実施予定額 (千円)	備考 (進捗状況)
		市町	大字	字				
1	四-1	菟野町	杉谷	一之瀬	330	2.51	6,124	完成
2	四-2	鈴鹿市	西庄内町	深沢	200	2.24	3,466	完成
3	四-3	亀山市	関町金場	植切	375	3.19	5,484	施工中
4	四-4	亀山市	関町市瀬	野々谷	210	1.66	2,912	施工中
5	四-5	亀山市	関町沓掛	安間平	167	2.48	2,660	施工中
6	四-6	亀山市	加太梶ヶ坂	虻谷	310	2.87	4,566	施工中
7	津-1	津市	白山町福田山	附田	70	5.93	6,927	施工中
8	津-2	津市	美杉町下之川	大谷	162	1.13	4,444	施工中
9	津-3	津市	白山町小杉	樋ノ口	1,107	9.62	16,990	準備中
10	松-1	松阪市	嬉野岩倉町	倉狭間	200	0.37	4,571	完成
11	松-2	松阪市	与原町	ウスギ	165	0.41	4,667	完成
12	松-3	松阪市	与原町	カテガ谷	250	1.77	8,276	完成
13	松-4	松阪市	飯南町下仁柿	中倉	110	0.51	8,500	施工中
14	松-5	多気町	長谷	柿木谷	357	0.74	15,300	施工中
15	松-6	大台町	唐櫃	横谷 (西ハカセ)	310	1.32	12,500	施工中
16	松-7	大台町	栗谷	大西谷	120	0.39	15,500	施工中
17	松-8	大台町	下真手	荷ノ倉	110	0.46	4,400	施工中
18	伊-1	度会町	五ヶ町	小ツカト	1,550	14.01	20,500	施工中
19	伊-2	南伊勢町	伊勢路	下池谷	300	4.38	8,200	準備中
20	伊-3	大紀町	崎	猿田原	57	7.70	11,300	準備中
21	上-1	伊賀市	島ヶ原	観節1	20	9.35	7,609	完成
22	上-2	伊賀市	高尾	奥出	500	2.99	4,290	施工中
23	上-3	伊賀市	島ヶ原	観節2	530	6.87	7,296	完成
24	上-4	伊賀市	奥馬野	オク1	220	5.06	6,242	施工中
25	上-5	伊賀市	奥馬野	オク2	30	1.49	2,774	施工中
26	尾-1	尾鷲市	三木浦町	早田道	340	3.50	9,772	施工中
27	尾-2	紀北町	十須	江竜	840	3.93	8,859	準備中
28	熊-1	熊野市	紀和町矢ノ川	後地	430	3.18	9,392	施工中
29	熊-2	紀宝町	鮎田	市畑	570	6.17	18,480	施工中
30	熊-3	熊野市	紀和町小船	露谷	450	4.23	6,516	施工中
計	30箇所	15市町			10,390	110.46	248,517	

令和3年度 災害緩衝林整備事業 整備箇所

事例1 鈴鹿市(深沢)



溪流部 【整備前】



溪流部 【整備後】



溪岸部 【整備前】



溪岸部 【整備後】



山腹部 【整備前】



山腹部 【整備後】

令和3年度 災害緩衝林整備事業 整備箇所

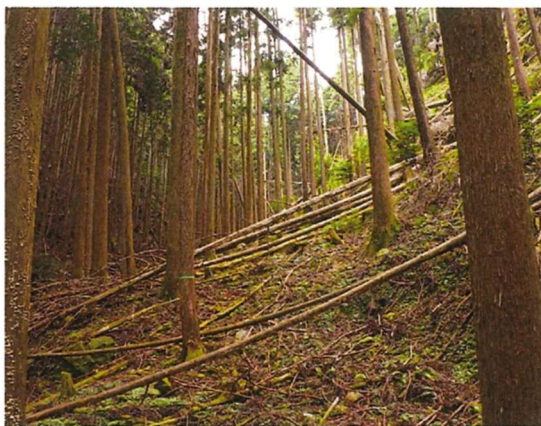
事例2 松阪市(カテガタニ)



溪流部 【整備前】



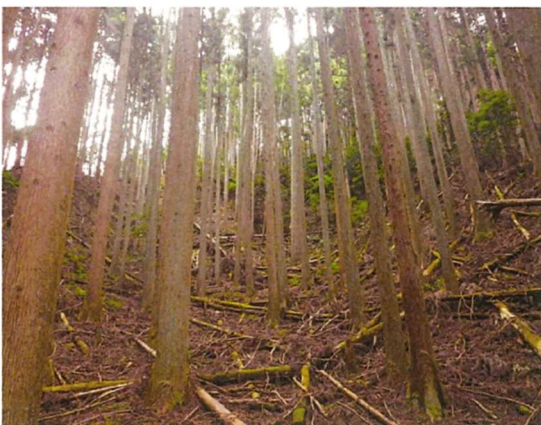
溪流部 【整備後】



溪岸部 【整備前】



溪岸部 【整備後】



山腹部 【整備前】



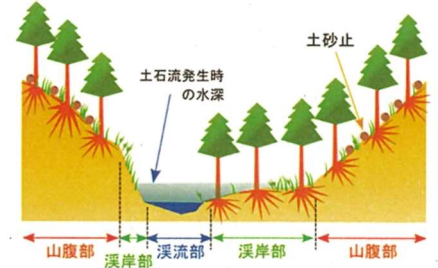
山腹部 【整備後】

令和3年度 災害に強い森林づくり推進事業

効果検証にかかる調査・研究事業 (林業研究所)

事業目的と検証事項

- 山腹部・・・調整伐による立木の成長の促進、
斜面安定効果及び土砂流亡抑制効果発揮に対して
- 効果検証が必要な事項
- ・斜面安定効果、土砂流亡抑制効果は発揮できるか？ ..項目1
 - ・立木の成長は促進されるか？ ..項目2
- 溪岸部・・・調整伐による立木の成長の促進に対して
- 効果検証が必要な事項
- ・立木の成長は促進されるか？ ..項目2
- 溪流部・・・危険木除去による流木発生抑制効果に対して
- 効果検証が必要な事項
- ・流木発生抑制効果は持続しているか？ ..項目3



効果検証にかかる調査・研究

項目1 樹木根系による斜面安定効果調査

根系発達による斜面安定効果を検証するために

- ① 根系分布調査、根引き抜き試験により、表層崩壊防止力を把握
- ② 土砂流亡量調査で、土砂流亡抑制効果の持続期間を把握



調整伐と伐倒木を利用した土砂止の設置



根引き抜き試験



根引き抜き試験及び根系分布調査の実施、土砂流亡量の継続調査

項目2 UAV(ドローン)を用いた森林モニタリング調査

成長促進効果を検証するために

UAV空撮画像の解析により事業実施箇所の森林状況の変化を把握



調整伐実施後の状態変化を調査



項目3 整備森林における危険木発生状況調査

危険木除去による流木発生抑制効果を検証するために

危険木を除去した溪流での流木等危険木発生状況を把握



現状？

項目1 樹木根系による斜面安定効果調査 (R1~5)

目的

- ①根系による表層崩壊防止力の把握・・・山腹部における調整伐実施による斜面安定効果(樹木根系の支持機能向上)を明らかにする。
- ②土砂流出量の継続調査・・・調整伐実施、土砂止設置による土砂流出抑制効果の持続期間を明らかにする。

方法

- ①根引き抜き試験と根系分布調査から根系による表層崩壊防止力を明らかにし、調整伐実施地と未実施地との比較検証を行う。
- ②平成27~29年度に土砂流出量観測を行った試験地の一部で土砂流出量の継続観測を行い、土砂流出抑制効果の持続期間を検証する。三重大学との共同研究で実施する。

今年度を実施した内容

- ①津市内の39年生スギ林、54年生ヒノキ林において、調整伐後6年経過した調整伐実施地と未実施地で各3~4断面の根系分布調査を行うことで得られたデータに対し、昨年度の根引き抜き試験から構築した崩壊防止力推定モデルを適用して崩壊防止力を推定した。一般的に、調整伐後は一時的に崩壊防止力は低下するが、調整伐実施地では未実施地と同程度まで崩壊防止力が高まっていた(図-1)。
- ②県内3カ所の試験地において、土砂受け箱内に入った土砂を2カ月おきに調査することで土砂流出量の観測を行った。調整伐後の林床被覆率上昇に伴う土砂流出量の減少傾向が持続していた(図-2)。

今年度の今後の予定

- ①引き続き、調整伐実施地と未実施地における根系分布調査を行い、根系による表層崩壊防止力のデータを収集する。調整伐実施地と未実施地との比較により調整伐の効果を検証する。
- ②土砂流出量の観測を継続するとともに、得られたデータの解析を行う。

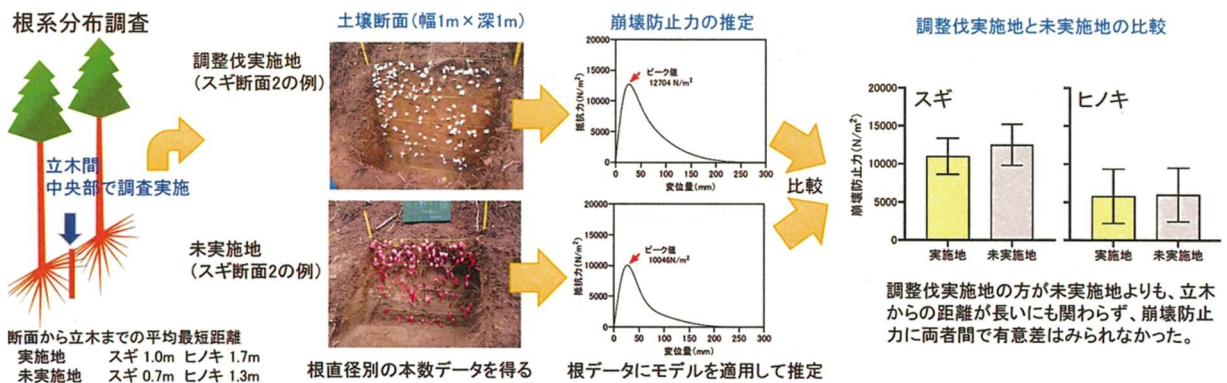


図-1. 調整伐後6年経過した林分における根系分布調査による崩壊防止力の推定

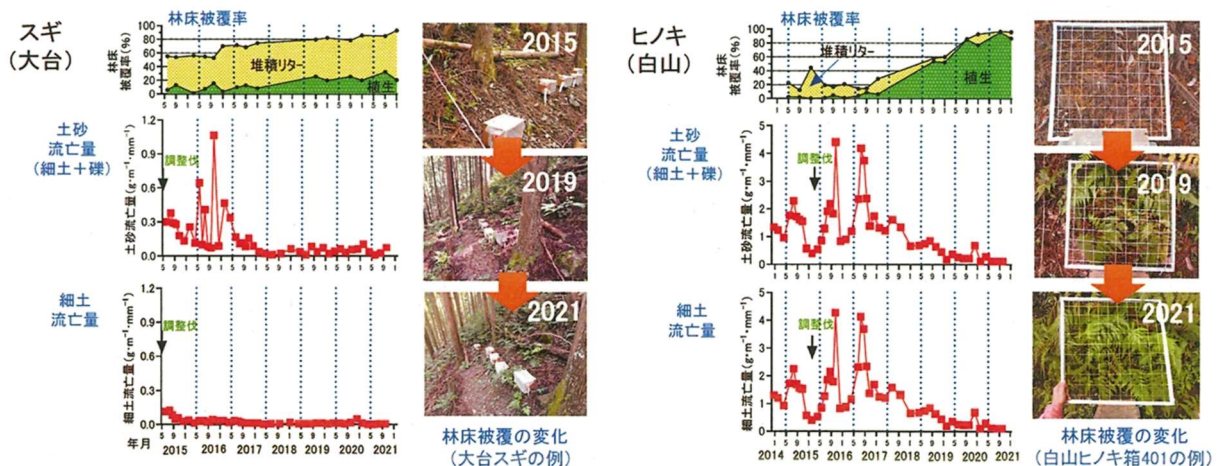


図-2. 調整伐後の林床被覆率と土砂流出量の経年変化(大台試験地スギと白山試験地ヒノキの例)

項目2 UAVを用いた森林モニタリング調査 (R1~5)

目的

山腹部、溪岸部での調整伐による立木の肥大成長促進や健全性向上の効果を明らかにする。

方法

平成26年度より、航空レーザ測量データを用いて調整伐前後の森林状態の変化を広域的にモニタリングしている。UAV(ドローン)を使用することで、面積は限定されるものの低コストで即時的に森林情報を得られる可能性がある。そのため、令和元年度以降、UAVから高精度で森林情報を取得するための技術を開発し、UAVを用いて既に設定したモニタリング区域の一部や他の事業実施地において、調整伐後の森林状態を複数年追跡調査することで、調整伐の実施効果を引き続き検証する。名古屋大学との共同研究で実施する。

今年度を実施した内容

平成26年度設定モニタリング区域内(大台町)において令和元年度に設定した3カ所の空撮区域、令和元年度事業実施地などにおいて令和元~2年度に設定した4カ所の空撮区域で空撮を行った(図-3、4)。精度改善に向け、これまでの一定高からの空撮に加えて地形追従空撮を行った(図-5)。同時に、各空撮区域内において、精度検証データ取得のため現地で立木の実測調査を行った。得られたデータは共同研究先の大学に提供し、空撮画像解析、森林情報解析技術の開発に取り組んだ(図-6)。

今年度の今後の予定

引き続き、設定した空撮区域において定期的にUAV空撮、現地実測調査を行い、得られたデータを用いて森林情報解析技術の開発を行う。UAV画像から解析された森林資源情報から調整伐実施効果を検証する。

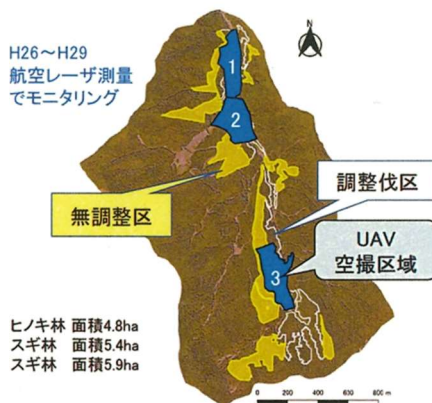


図-3. 平成26年度設定モニタリング区域内に設定した空撮区域の位置

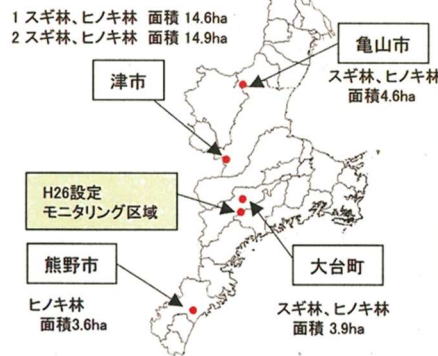


図-4. 平成元年度事業地に設定した空撮区域の位置

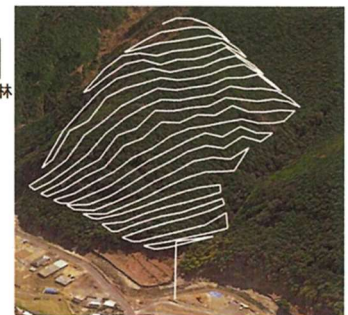


図-5. 地形追従飛行による空撮
白線は飛行ルート。地面からの高さを常に一定に保ちつつ空撮した

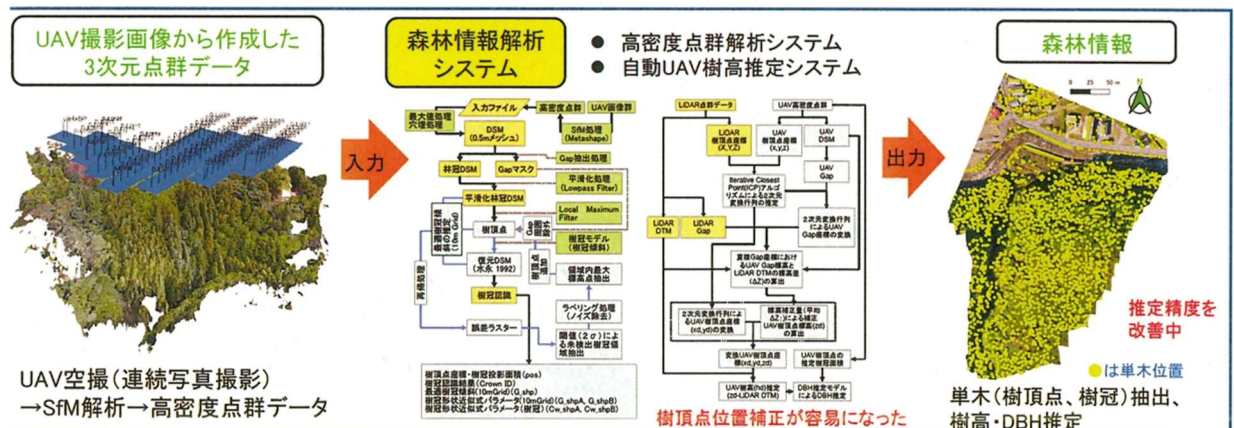


図-6. 開発中のUAVによる森林情報解析技術

項目3 整備森林における危険木発生状況調査 (R1~5)

目的

渓流部で実施している危険木(倒流木)除去による流木発生抑制効果を検証する。

方法

事業により渓流部の危険木除去を行った渓流(既整備渓流)における倒流木発生の現況について多点調査を行う。また、より効果的で除去効果の持続性が高い整備手法を検討するには、倒流木の発生要因、滞留状況、形態的特性、豪雨等に伴う挙動を明らかにする必要があることから、既整備渓流、未整備渓流に固定試験地を設定して倒流木の移動、発生、消失等のモニタリングを行う。三重大学との共同研究で実施する。

今年度を実施した内容

平成26、27年度に渓流部の危険木除去を行った伊賀、伊勢、尾鷲、熊野管内39箇所の既整備渓流、計23,220mで渓流部の踏査を行い、倒流木の位置、サイズや腐朽度等の形態的特性、発生要因等を調査した(図-7)。除去後に台風による被害を受けた一部を除き、再発生した倒流木の材積は除去材積と比較してわずかであり、著しい台風被害などを受けなければ、長期間にわたって除去効果は維持されると考えられた(図-8)。確認された倒流木の発生要因では、強風に起因する立木の根返りや幹折れ、溪岸侵食の割合が高かった(図-9)。

今年度の今後の予定

令和元~2年度に設定した固定試験地(既整備渓流4、未整備渓流2)において、冬季の渇水期に追跡調査を行い、危険木の発生、消失、移動状況を調査する(図-10)。得られたデータの解析を行う。

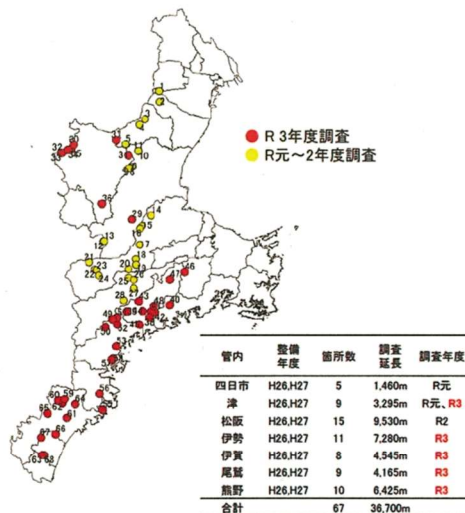


図-7. 既整備渓流の多点調査位置

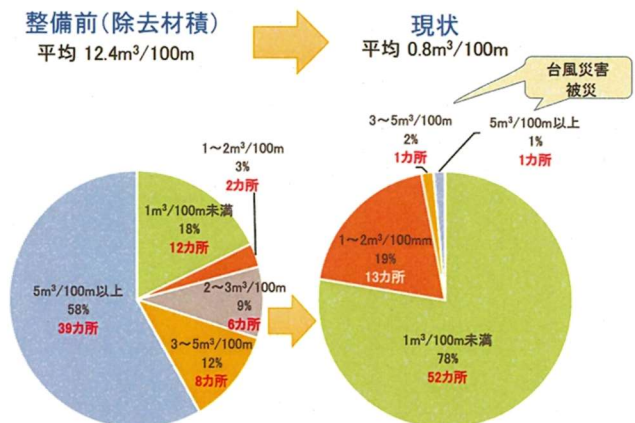


図-8. 既整備渓流の多点調査(67カ所)における倒流木の材積別の箇所数割合の変化

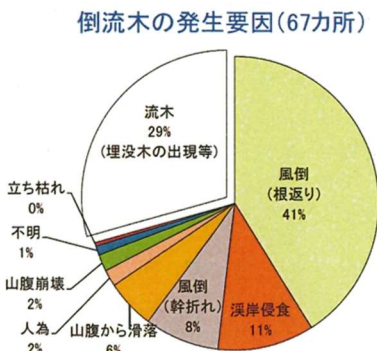


図-9. 既整備渓流の多点調査における倒流木の発生要因

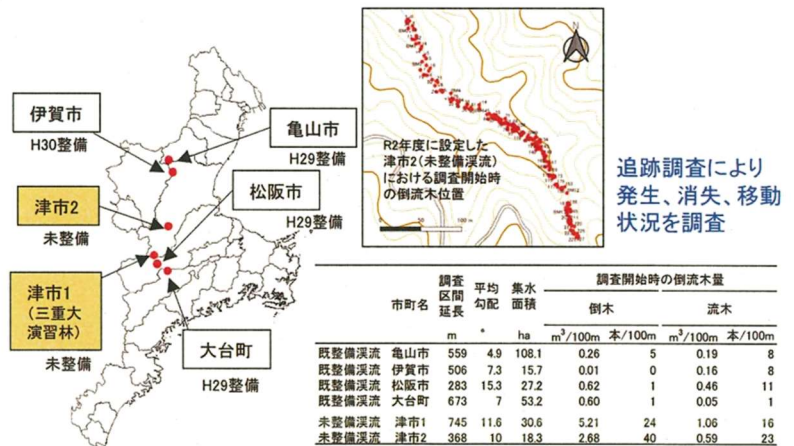
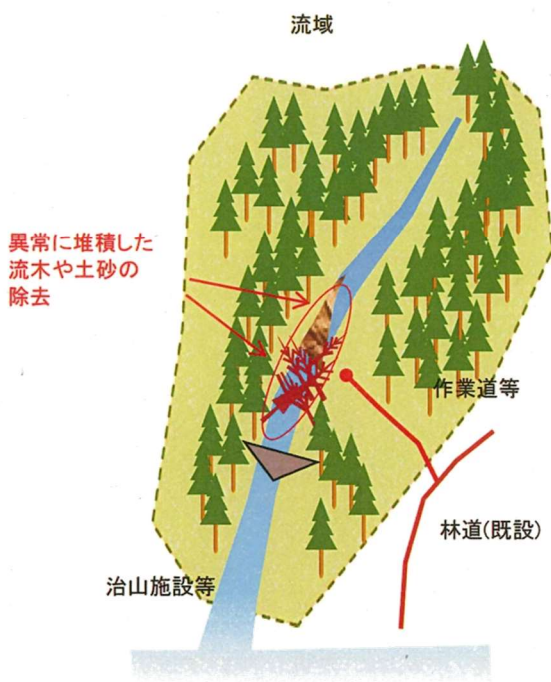


図-10. 固定試験地の位置と概要

土砂・流木緊急除去事業

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、治山施設等に異常に堆積した土砂や流木について、台風や豪雨の際に流出して下流に被害を与えるおそれのあるものを撤去します。



治山施設に異常に堆積した流木



流木撤去後（大台町）

令和3年度 災害に強い森林づくり推進事業実施予定箇所一覧表

土砂・流木緊急除去事業

令和3年12月31日現在

番号	箇所番号	調査箇所			土砂撤去 (m3)	流木撤去 (m3)	実施予定額 (千円)	備考
		市町	大字	字				
1	四-1	いなべ市	大安町宇賀	西ヶ窪	27.0	-	500	施工中
2	松-1	松阪市	飯高町舟戸	大崩	1,899.0	-	10,884	施工中
3	松-2	大台町	桧原	東又谷	1,751.0	-	15,464	施工中
4	尾-1	紀北町	十須	江竜	87.0	14.2	4,800	完成
計	4箇所	4市町			3,764.0	14.2	31,648	

令和3年度 土砂・流木緊急除去事業 整備箇所

事例3 紀北町(江竜)



【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備後】

県庁舎及び市町庁舎等の PRパネル展示状況



伊賀庁舎



熊野庁舎



③ 森林情報基盤整備事業

担当課：森林・林業経営課

基本方針：① 災害に強い森林づくり

対策区分：① 土砂や流木による被害を出さない森林づくり

1 事業の目的

航空レーザ測量により得られる森林資源情報を用いて、効率的な森林管理を促進するとともに、災害発生危険性の高い地域等を客観的に把握し、災害に強い森林づくりを効果的に進めます。

また、得られた森林資源情報を市町と共有することで、市町による森林の適正な管理を促進します。

2 事業の必要性

緊急に整備が必要な森林や、山地災害や流木被害の発生恐れのある森林を効率的に把握し、災害に強い森林づくりを着実に進めるためには、航空レーザ測量を実施して、樹種、樹高、立木密度、材積等の詳細な森林資源情報や、尾根、谷等の精度の高い微細な地形情報等を効果的に取得する必要があります。

また、所有者の関心の低い森林や、境界が不明な森林等において、手つかずの状態になることを防止するため、森林境界の明確化につながる情報の把握に努める必要があります。

3 事業の内容

航空レーザ計測の実施によるデータ取得と森林資源解析により、早急に整備が必要な森林の抽出等を行います。

(1) 航空レーザ計測 ※レーザ照射点密度 4 点/m²

・ 三次元計測データ、グリッドデータ、写真地図データ、等高線データ等を作成

(2) 森林資源解析

・ 林相区分データ作成

・ 単木解析（樹木本数、単木毎の位置、樹高、樹冠幅、樹冠長、胸高直径、材積等の把握）

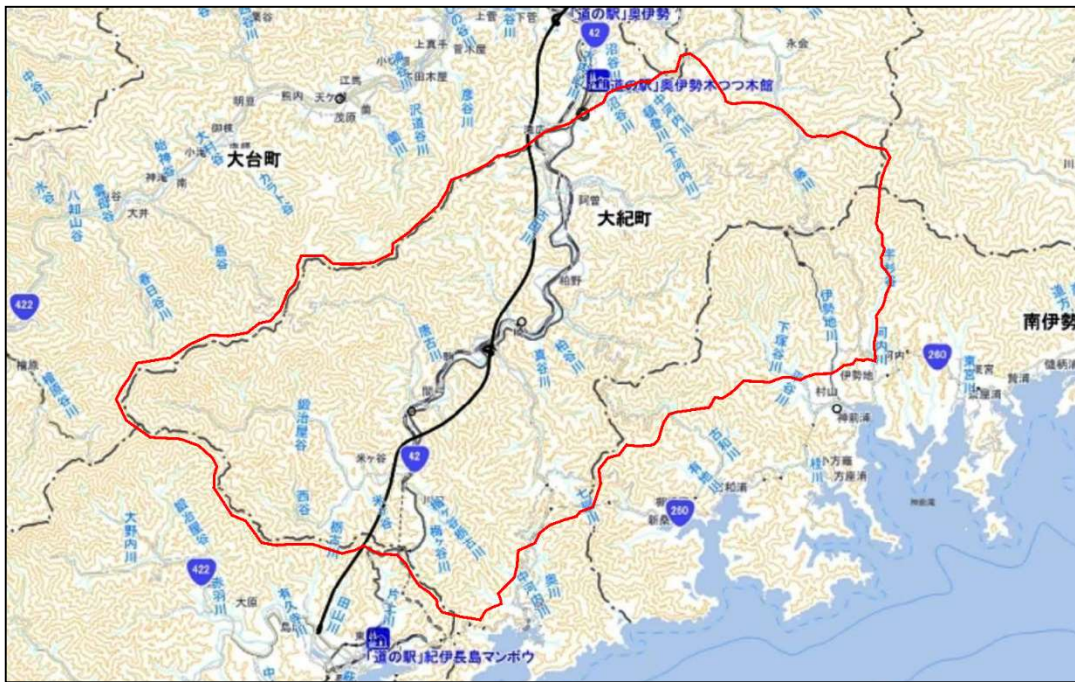
・ 林分解析（平均胸高直径、平均樹冠長、総材積、平均形状比、平均樹高、立木本数密度、収量比数、相対幹距比等の算出）

(3) 成果品：森林GISの主題図として、傾斜区分図、立体地形表現図、森林資源解析図を作成

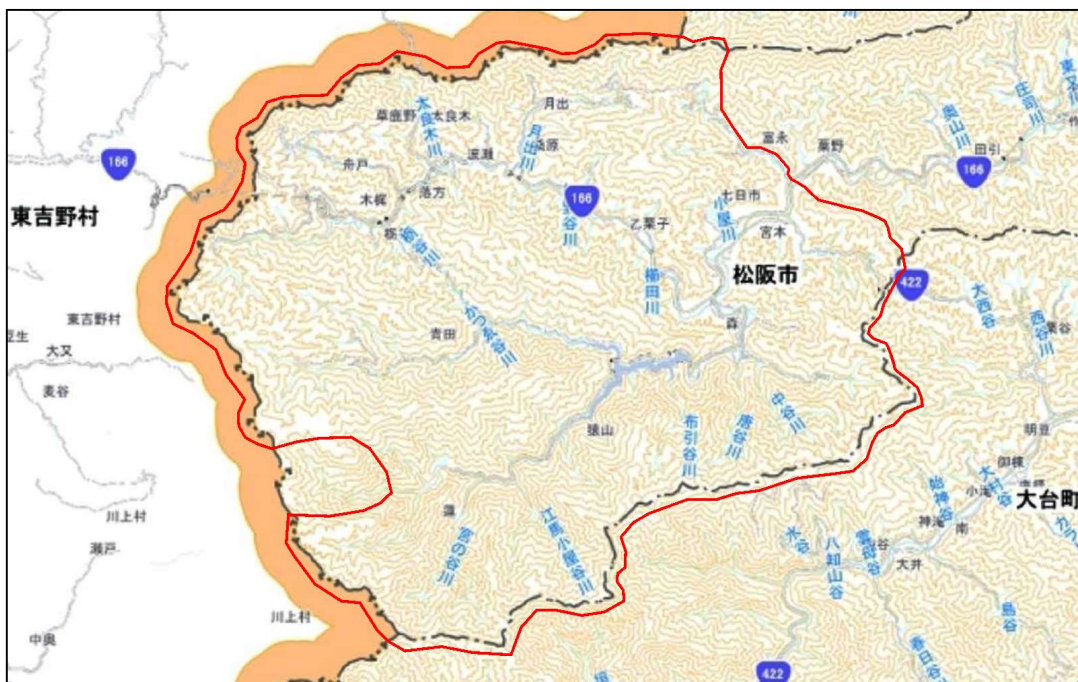
令和3年度事業計画

測量面積	予算額 (千円)	測量区域
約 640 km ² (6万4千 ha)	84,000	大紀町、南伊勢町、松阪市、 紀北町

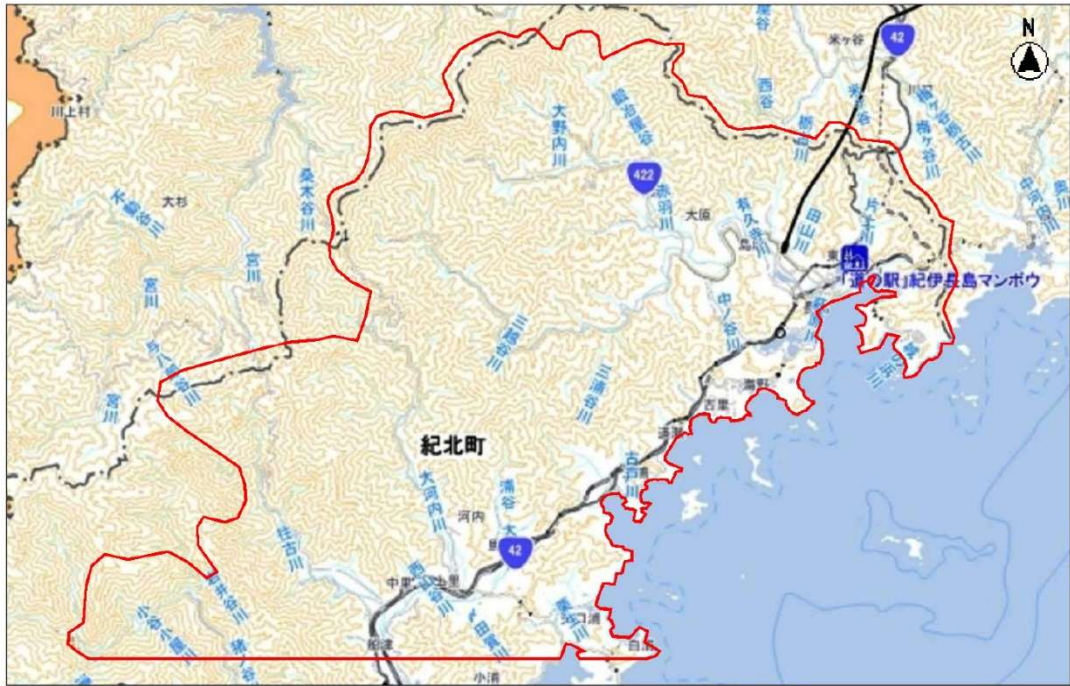
1、大紀町、南伊勢町 測量区域



2、松阪市 測量区域



3、紀北町 測量区域



④－ア：森林教育体制整備事業

担当課：林業研究所 普及・森林教育課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：③森を育む人づくり

1 事業の目的

「森林や木材が暮らしや経済に当たり前に取り入れられている社会づくりへ向けた教育」、「森林に関わる活動やビジネスを志すきっかけとなる教育」、「自ら考え、判断して行動する力を育む森林教育」に取り組むことで、「みえ森林教育ビジョン」を実現し、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

2 事業の必要性

市町や活動団体単位での取組が困難な、森林教育指導者の養成や活動プログラムの提供を県で取り組んでいく必要があります。

3 事業の内容

従来より取り組んできた、森林教育イベントに加え、新たにみえ森林教育ビジョンを実現するため、小学校向け森林教育プログラムの作成や、大人向け森林教育プログラムの開発補助、子どもたちの健全な心身の育成と森林・林業に関する職業意識の醸成を図るため、子どもたちが仲間と共に主体的に学ぶプログラムを実践するための自然環境キャンプの指導者養成等を行います。

また、県民の皆さんへみえ森林教育を広く普及するため、木製遊具や玩具に触れ合える常設型の森林教育施設の認定を行います。

4 令和3年度の進捗状況

(1) みえ森林教育ビジョンの実現に向けた取組

みえ森林教育ビジョンの実現に向け、森林教育プログラムの作成や様々な世代を対象とした森林教育講座の実施を行っています。

なお、令和3年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により、取組の進捗を図ることが難しい状況となっています。

①小学校向け森林教育プログラムの作成

多忙な小学校において通常の授業で森林教育に取り組めるよう、小学校で使用する教科書（1～6年）を、森林・林業の視点で横串しにした一覧表「小学校における森林教育プログラム」を作成します。

②保育・幼児教育機関における森林教育の実施

保育・幼児教育において森林教育を推進するため、森林や自然、木を活用した保育・幼児教育をテーマとした交流会を開催します。

交流会名：保育・幼児教育における森林教育を進めていくために「どんな森林だったら保育・幼児教育に活用できるか知ろう！」交流会

開催日時：令和4年1月12日 13:30～16:00

交流会内容：講座及び意見交換

- ①森林を活用した保育・幼児教育の効果
- ②実際の森林での保育・幼児教育の様子
- ③保育・幼児教育に活用できる森林について

③子どもたちを対象とした森林教育講座の実施

小学生（中学年以上）の子どもたち10名程度を対象に、森林・林業、木材産 業に関する学習や体験を通して当該分野に対する認識、関心を深めるとともに、森林をフィールドとした野外体験活動、科学的探究、創作、コミュニケーション活動等を通して、子どもたちの主体性や生きる力を育み、持続可能な社会を構築するための教育活動を行う予定としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により規模・回数を縮小して、令和4年3月に2～3日程度の連続講座を行う予定としています。

④短大・大学生等を対象とした森林教育講座の実施

将来、教育分野に携わろうとする大学生・短大生等10名程度を対象に、森林・林業、木材利用等に関する理解を深め、森林教育を実践するきっかけとなる教育活動を行う予定としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により規模・回数を縮小して、令和4年2月末から3月にかけて2日程度の連続講座を行う予定としています。

⑤企業を対象とした森林教育講座の実施

県内に本社・事業所等を置く企業の担当者10名程度を対象として、自社の経済活動や商品開発、社会活動、オフィス環境の整備といった様々な取組やビジネスに森林や木材の要素を取り入れてもらうことを目的に、森林・林業、木材利用への関心を高めるための講座を実施します。

講座は、松阪市飯高町において、もくいち・マルゴ株式会社を会場に、みえ森林・林業アカデミー太田学長による講義、三重大学人文学部青木教授のコーディネートによるワークショップ、沖中造林株式会社の社有林の見学といった内容で、令和4年1月28日（金）に実施予定としています。

⑥大人を対象とした森林教育プログラムの開発支援

大人を対象とした、あるいは大人も対象に含めた森林教育の取組が少ないことから、対象を大人まで拡大した森林教育の場、機会の創出を図ります。そのため、事業スキーム構築のための全国事例、県内状況の調査やセミナーを開催します。

(2) みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業

子どもたちの健全な心身と森林・林業への関心、愛着を図るため、県内で森林をフィールドとして子どもの生きる力を育む体験活動が展開されるようになるために、その指導ができる者の養成を行う講座を開催します。講座は、独立行政法人国立青少年教育振興機構国立曽爾青少年自然の家から講師を迎え、共催にて実施します。

講座名：森林をフィールドに子どもの生きる力を育む指導者養成講座

受講人数：9名

講座内容：座学及び実習 4日（11月21日、23日、12月11日、12日）

先進地視察 1日（12月4日）

実践 4日（1月10日、16日、23日、30日）

講座の実践は、令和元年、2年度において当事業で作成した自然環境キャンププログラムを開催し、受講生が参加者の指導を行うという内容となっています。



養成講座 1日目
指導者としての心構えについての講座及び実習



養成講座 3日目
フィールドである森林について理解を深める講座及び実習

(3) 森林教育体制整備

①副読本の作成

小学校5年生の社会科教科書の副読本として、森のはたらきや緑の循環、木材利用の意義、校庭の樹木のCO2吸収量測定ワーク、県内各地域の森林・林業の特色などを解説した冊子を作成し、県内の小学5年生の児童全員に各学校を通して配布を行っており、今年度も7月に配布を行いました。

一部の小学校や市町からは、5年生以外の児童への配布やイベント等で使用するための追加配布の要望ももらっています。

また、学校の授業での使用のほか、社会見学や出前授業の際の資料としても活用されています。



②みえ森林教育ステーションの認定

森林や木、木材の魅力に触れることができるなど、一定の基準を満たす施設を「みえ森林教育ステーション」として認定します。

ステーションの認定には、複数人が一度に利用できる県産材の遊具や床（4㎡以上）の設置、木製玩具や森林・林業に関する絵本・図書の配架、森林教育活動の実施等が基準となっており、必要に応じてそれらの物品等を支給するステーション整備支援事業のメニューも用意しています。

県内各地で森林教育に気軽にアクセスできる場の整備を進めるため、3か年で29箇所の認定を目標としており、今年度は熊野市、御浜町、津市、南伊勢町、名張市において計6箇所の認定を予定しています。

③森林教育イベント等の実施

昨年度まで「みえ子ども森の学びサミット」として、子どもたちを対象としたイベントを開催していましたが、みえ森林教育ビジョンが令和2年10月に策定されたことを契機に、今年度からは子どもから大人まで様々な世代を対象とした森林教育イベントを行うこととしました。

今年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により規模・回数を縮小して、令和3年11月20日に三重県民の森において開催した「森に集まれ！みえ森フェスタ2021」において、木工工作体験などのブース出展を募り、大人を対象とした木工体験も行うなど、森林教育に関するイベントを行いました。



④-イ：みえ森づくりサポートセンター運営事業

担当課：林業研究所 普及・森林教育課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：③森を育む人づくり

1. 事業の目的

森林教育や森づくり活動に携わる人材の育成を図るとともに、これらの活動に地域や学校等で取り組みやすい体制を整えることで、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

2. 事業の内容

地域で行う森林教育や森づくり活動の促進を図るため、総合窓口として津市白山町の林業研究所内に設置した「みえ森づくりサポートセンター」を運営しました。

(1) 相談対応、情報発信

市町や学校、森林教育指導者（森のせんせい）等からの森林教育や森づくり活動に関する相談に随時対応し、活動のコーディネートや森林教育に関する情報収集、普及啓発を行いました。

また、ホームページ、SNS等で指導者養成講座、森の学校等の開催案内や、講座、出前授業、イベント等の実施状況を発信しました。

内容	件数	調整・連携の相手
森林教育に関する相談対応	818	県・市町 244、学校等 222、森のせんせい 192、その他 160
森づくり活動に関する相談対応	12	森づくり活動団体 4、その他 8
森林教育に関する情報の収集及び発信		・森林づくりニュース発行（年 3 回） ・メールマガジン発行（月 1 回） ・ホームページ運営、 Facebook、Instagram による発信

(2) 指導者の育成

学校や地域での課題を踏まえ、森林教育の取組が幅広く推進されるよう「地域講座」を 6 回、指導者（森のせんせい）のスキルアップを目的とした「森のせんせいスキルアップ講座」を 3 回、学校での森林教育の取組促進を図るため、県教育委員会事務局との共催により学校教職員を対象とした研修を 1 回実施し、指導者の育成を図りました。

指導者養成講座実施計画及び実績

開催日	講座名	開催場所	募集人数	受講人数
地域講座				
令和3年 6月27日(土)	【四日市地域】 森林教育指導者養成講座 (知識編)	亀山市池山公民館及び石 水溪周辺森林 (亀山市)	15名	14名
令和3年 8月1日(日) 8月8日(日)	【四日市地域】 森林教育指導者養成講座 (技術編)	藤原岳自然科学館 (いなべ市)	10名	11名
令和3年 7月11日(日)	【伊賀地域】 森林教育指導者養成講座 (野外活動安全管理)	三重県上野森林公園(伊 賀市)	15名	19名
令和4年 1月22日(土)	【津地域】 森林教育指導者養成講座 (主体的・対話的で深い学び編)	三重県総合文化センター 男女共同参画棟 (津市)	10名	未実施
令和3年 12月23日(木)	【松阪地域】 森林教育指導者養成講座 (見学編)	ウッドピア松阪及び大台 町内の森林 (松阪市及び大台町)	15名	10名
令和3年 8月17日(火)	【松阪地域】 森林教育指導者養成講座 (木・木材編初級)	多気町立佐奈小学校(多 気町)	20名	16名
令和3年 11月10日(水)	【伊勢地域】 森林教育指導者養成講座 (木・木材編初級)	南伊勢町町民文化会館 (南伊勢町)	10名	9名
森のせんせいスキルアップ講座				
令和3年 11月27日(土) 11月28日(日)	LEAF ローカルインストラクター研 修	株式会社ひのき家及び周 辺山林(大紀町)	10名	6名
令和3年 11月13日(土) 11月14日(日)	コミュニケーション編	四日市市少年自然の家 (四日市市)	15名	14名
令和3年 11月10日(水)	木・木材編中級	南伊勢町町民文化会館 (南伊勢町)	10名	3名
学校教育関係者対象の研修				
令和3年 7月30日(金)	学校教職員森林環境教育研修	三重県総合博物館	20名	15名



森林教育指導者養成講座(知識編)
森林・林業の基礎知識について学び、現地にて理解を深めました。



森のせんせいスキルアップ講座(コミュニケーション編)
インタープリテーションの技能を座学と実習で学びました。

併せて、指導者実践の場として、「森の学校」を開催し、森林や木について楽しく学べることをテーマに、森のせんせいが森林散策や木工体験等のイベントを、これまでに6回実施しました。



森の学校「森のたからばこ作り」



森の学校「自然観察会」

森の学校実施計画と実績

	開催日	開催場所	内容	参加数
1	令和3年 10月30日(土)	松阪ショッピングセンター マーム (松阪市)	丸太切り体験とコースター作り	32名
2	令和3年 10月31日 (日)		ペンダント作り	31名
3	令和3年 11月20日 (土)	三重県民の森 (菟野町)	三重県産材で作る「森の標本箱」	62名
4	令和3年 12月12日 (日)	四日市市勤労者・市民交流センター (四日市市)	森のたからばこ作り	62名
5	令和3年	三重県林業研究所 (津市)	自然観察会	9名
6	12月18日(土)		薪割体験	14名
7	令和4年	イオンモール東員 (東員町)	組子のコースター作り	未実施
8	1月8日 (土)		三重県産材マイ箸づくり	未実施
9	令和4年		組子のコースター作り	未実施
10	1月9日 (日)		葉っぱで遊ぼう	未実施
11	令和4年		木のバードコール作り	未実施
12	1月10日 (月祝)		丸太切り体験とコースター作り	未実施
13	令和4年 1月15日 (土)	三重県立みえこどもの城	組子のコースター作り	未実施
14			三重県産材で作る「森の標本箱」	未実施
15			三重県産スギの椅子作り	未実施
16			冬越しの生き物を探そう	未実施

17			自然観察とネイチャーゲーム	未実施
18	令和4年 1月29日(土)	イオンモール津南(津市)	組子のコースター作り	未実施
19	令和4年	高田短期大学の森(津市)	竹林整備と竹の小物作り	未実施
20	2月11日(金祝)		竹林整備とスタードーム作り	未実施
21	令和4年 2月23日(水祝)	イオンモール鈴鹿 (鈴鹿市)	小径木のコースター作り	未実施
22	令和4年 3月5日(土)	鈴鹿青少年の森(鈴鹿市)	バードコール作り	未実施
23	令和4年 3月6日(日)	イオンモール桑名 (桑名市)	組子のコースター作り	未実施

(3) 森のせんせい等のネットワークの構築

森のせんせい等のネットワーク構築のため、北勢地域、中南勢・伊賀地域、尾鷲・熊野地域の3地域において座談会を開催しました。

地域	開催日	開催場所	参加人数
北勢地域	令和3年12月21日(火)	三重県環境学習情報センター	4名
中南勢・伊賀地域	令和3年12月22日(水)	三重県林業研究所交流館	6名
尾鷲・熊野地域	令和3年12月25日(土)	熊野古道センター	1名

(4) 出前授業

市町、学校、保育所等における取組を支援するため、学校等からの要望に応じて森林教育の指導者の紹介やプログラム作成等を行い、出前授業を実施しました。



明和町立上御糸小学校

森林のはたらきについての学習で、自分たちの地域の田んぼの水が飯高の森林からきていること学びました。写真右は、木ホルダー作りの様子。



鈴鹿市立白鳥中学校

森林のはたらきについて学び、箸作りを行いました。写真右は、箸の材料であるスギ、ヒノキの木部と葉っぱに触れているところ。

出前授業実施計画と実績

	実施日	学校名	内容	実施状況
1	令和3年 7月1日(木)	四日市市立塩浜中学校	森と木の話、木工	実施済
2	令和3年 7月6日(火) 7月9日(金)	松阪市立南小学校	森林・林業の話、 林業体験	実施済
3	令和3年 7月8日(木)	四日市市立内部東小学校	林業体験	実施済
4	令和3年 7月8日(木)	鈴鹿市立白鳥中学校	森林・林業の話、木工	実施済
5	令和3年 7月12日(月)	津市立村主小学校	森林・林業の話、木工	実施済
6	令和3年 7月14日(水)	亀山市立亀山南小学校	森林・林業の話、木工	実施済
7	令和3年 8月30日(月)	桑名市深谷教育集会所	森林・林業の話、木工	中止
8	令和3年 9月14日(火)	明和町立上御糸小学校	森林・林業の話、木工	実施済
9	令和3年 10月1日(金)	四日市市立富田小学校	森と木の話、木工	実施済
10	令和3年 10月29日(金)	津市立橋北中学校	木の話、大工の実演	実施済
11	令和3年 11月9日(金)	多気町立外城田小学校	森と木の話、木工	実施済
12	令和3年 11月16日(火)	桑名市立多度東小学校	森林・林業の話、木工	実施済
13	令和3年 12月6日(月)	東員町立城山小学校	森林・里山の話	実施済

14	令和4年 1月21日(金)	桑名市立長島北部小学校	森林・林業の話、木工	未実施
15	令和4年 1月27日(木)	鳥羽市立加茂小学校	森林・林業の話、木工	未実施
16	令和4年 1月28日(金)	いなべ市立三里小学校	里山学習、体験活動、 木工	未実施

(5) 森林教育のコーディネート

森林教育活動を希望する市町、学校、保育所等からの要望に応じ、指導者の紹介やプログラム構築等のコーディネートを行いました。

森林教育活動コーディネート実績

依頼者	コーディネート内容
伊勢市教育委員会	伊勢市内の市立小学校3校（中島小、宮山小、城田小）の森林教育授業9件における、森林教育指導者紹介、プログラム作成、当日運営支援等
松阪市立港小学校	社会見学における森林・林業学習での森林教育指導者紹介、プログラム作成、当日運営支援等
津田大山田幼稚園	森林教育指導者の紹介、当日運営支援
伊賀市立神戸小学校	森林教育指導者の紹介
玉城町立田丸保育所	森林教育指導者の紹介、プログラム作成
伊賀市丸柱地区市民センター	森林教育指導者の紹介
仏土寺（伊賀市）	森林教育指導者の紹介

(6) みえの森フォトコンテストの開催

写真撮影を通して森林や木に親しみ、その大切さを知ってもらうことを目的に、「三重の森林」をテーマとした写真コンテスト及び写真教室を開催しました。

第8回みえの森フォトコンテストでは県内の18歳以下を対象に、小学生以下の部と中学生以上の部の2部に分け、森林や木と人の関わり等を撮影した写真を募集し、第7回を上回る326点の応募がありました。

第7回及び第8回みえの森フォトコンテスト入賞作品は県施設や大型商業施設等で展示しました。

開催日	イベント名	開催場所	対象者	募集人数	参加人数
令和3年 7月31日(土)	こども森の写真教室	三重県林業研究所(津市)	小中学生とその家族	7組15名	6組16名
令和3年 6月1日(火) ～10月10日(日)	第8回みえの森フォトコンテスト	—	県内 18歳以下	—	154名 326点

(参考)これまでの「みえの森フォトコンテスト」応募状況

開催回・年度 応募者・作品数		第4回 (H29年度)	第5回 (H30年度)	第6階 (R元年度)	第7回 (R2年度)	第8回 (R3年度)
応募者数	小学生以下の部	18	14	26	27	61
	中学生以上の部	45	37	39	44	93
	合計	63	51	65	71	154
応募作品数	小学生以下の部	45	40	58	75	124
	中学生以上の部	53	60	86	126	202
	合計	98	100	144	201	326

みえの森フォトコンテスト入賞作品展示計画及び実績

	展示期間	展示場所
1	令和3年4月15日(木)～4月20日(火)	イオンモール津南(津市)
2	令和3年6月24日(木)～7月7日(水)	三重県立熊野古道センター(尾鷲市)
3	令和3年8月2日(月)～8月6日(金)	イオンモール四日市北(四日市市)
4	令和3年8月16日(月)～8月18日(水)	イオンタウン伊勢ララパーク(伊勢市)
5	令和3年10月29日(金)～11月3日(水祝)	松阪ショッピングセンターマム(松阪市)
6	令和3年11月20日(土)	三重県民の森(菟野町)
7	令和3年11月2日(木)～12月9日(木)	三重県立みえこどもの城(松阪市)
8	令和3年12月18日(土)	三重県林業研究所
9	令和4年1月8日(土)～10日(月祝)	イオンモール東員



(上) 小学生以下の部 最優秀賞作品
「タコの吸盤」

(右) 中学生以上の部 最優秀賞作品
「荷坂峠に生ける森」



(上) みえの森フォトコンテスト入賞作品
展示の様子

(右) こども森の写真教室チラシ



(7) 三重県で作られた木のおもちゃを体験できる「ミエトイ・キャラバン」の実施
 三重県で作られた木製遊具・玩具を「ミエトイ」と位置付け、それらを体験し、
 木の良さに触れてもらう場として「ミエトイ・キャラバン」を実施しました。
 今年度においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し、大
 型の木製遊具の設置を中止して定期的に消毒のできる積み木やけん玉など、小型の
 木製玩具を中心に展示、体験を行いました。

ミエトイ・キャラバン実績

	開催日	開催場所	参加人数
1	令和3年 10月30、31日(土、日)	松阪ショッピングセンター マーム (松阪市)	140人



ミエトイ・キャラバンの様子

(8) 物品の貸出

森のせんせい、森づくり活動団体、区市町および教育委員会等を対象に森林教育活動や森づくり活動に必要な物品等の貸出を25件行いました。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、大型木製遊具の貸出は行いませんでした。

(貸出物品)

- ・森づくり活動に必要な資器材(ヘルメット、チャップス、丸太切り台 等)
- ・森林教育用教材(森のはたらきパネル、クップ 等)

④－ウ：森林教育施設整備事業

担当課：林業研究所 普及・森林教育課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：④森と人をつなぐ学びの場づくり

1 事業の目的

多くの県民がいつでも森林教育が体験できる活動フィールドや木製遊具などが常設された施設を整備することで、森と県民との関係を深め、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

2 事業の必要性

木製遊具や玩具に触れ合える森林教育施設を整備することにより、木に触れる体験をすることが常時可能となります。

3 事業の内容

三重県民の森に森林教育実践フィールドや常設型の木製遊具や玩具に触れ合える森林教育施設を整備します。

また、これらの施設を森林教育指導者の活躍の場として活用するなど、ソフト面でも充実を図ります。

4 令和3年度の進捗状況

(1) 三重県民の森「みえ森林教育ステーション」の整備

令和2年8月から令和3年6月にかけて、三重県民の森の自然学習展示館を改修し、「みえ森林教育ステーション」として三重県産のスギ・ヒノキを使用した木質空間・木製複合遊具の設置を行いました。

遊具は、下層に迷路のような仕切りが付いた3つの高台とすべり台が組み合わさったもので、安全性に配慮しながら、子どもたちが自由に遊び方を考えて利用できるものとなっています。

また、ステーションは、床の段差やフローリングの節の有り無し、パーテーションを兼ねたベンチ、絵本スペースなどによってゆるやかに空間が区切られており、対象年齢や機能に応じた利用ができるゾーニングの工夫もされています。

設計にあたっては、県立伊勢工業高等学校建築科の皆さんに協力いただき、コンセプトの策定から基本設計などに携わっていただきました。

さらに、改修に際しては、新たに授乳室やおむつ替えスペース、トイレ個室のベビーチェアを設けるとともに、利用者アンケートで要望が多かったトイレの洋式化を

行うなど、メインターゲットとなる未就学児やその保護者をはじめ来館者が利用しやすい施設となるよう努めました。



ここから始まる 木とのふれあい 森との出会い



幼児の頃から木に触れ、森を知り、地域の自然について学び考え、将来、郷土の自然を愛し、地域の森林を守り育てていく人を育む場として、三重県民の森の自然学習展示館を、安心して楽しみながら木に触れ木のぬくもりや質感を体感できる施設としてリニューアルします。



各zoneのコンセプト

	対象年齢	コンセプト	イメージ	必要な整備
木育 ステーション	未就学児と その保護者	乳幼児が 安心して 楽しみ ながら 木に触れ、木を使って 木のぬくもりや質感を 体感 する	明るい 心地よい空間 地域の自然とつなが る	明るい照明 窓から明かりが入る 空調 外の森が見える 地域（県産）の木材を使う
Feeling Zone	0歳～2歳	木のぬくもりや質感を 五感で 感じる	安全 床に座る 衛生面 一人遊び 保護者同伴	転んでも痛くない床 素足で上がるスペース 角の取れた構造 保護者もくつろげる 掃除しやすい（汚れにくい）
Play Zone	3歳～6歳	体と頭を使って木のお もちゃで思いっきり 遊ぶ	安全 立って遊ぶ のびのびできる 同年代との社会性	角が取れた構造 幼児サイズの遊具 目線に突起物が無い グループ遊びができる遊具 動ける空間（広さ）
Learning Zone	5歳～	木が育つ森や地域の自然 について 学び・考える	見本・標本から学ぶ 読む・観察する 他人から学ぶ	今ある標本・見本の活用 管理者の工夫で展示の模様替え可 能な可動性のある展示スペース 壁も展示スペースとして利用 専門スタッフから学べる環境
そして森へ	-	森の中に入って、本物 の自然の姿を知り、 体験 する。	本物を体感	三重県民の森野外フィールドの活 用



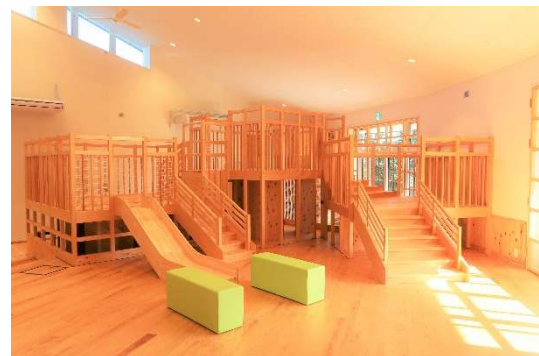
改修前の自然学習展示館



内装解体工事（9月）



大型木製遊具建込み（11月）



完成後の森林教育ステーション

（2）オープニングセレモニー

平成 30 年に基本構想が始まったステーションの整備は、設計・工事を経て、令和 3 年 11 月 20 日（土）にオープンを迎え、同日、「森に集まれ！みえ森フェスタ 2021」のイベント開催に際して、オープニングセレモニーを行いました。

セレモニーでは、県立伊勢工業高等学校の関係者も出席して、生徒の皆さんが製作したステーションの木製看板の贈呈が行われ、また、当時、基本設計に関わった卒業生からは、ステーションのコンセプトや基本設計の趣旨などについてのプレゼンテーションも行われました。



木製看板の贈呈



オープニングセレモニー

(3) 運営状況

令和3年11月20日以降、ステーションは、絵本・玩具の配架の停止や消毒などの感染症対策に取り組みながら、午前・午後の1時間半ずつ、定員20名の予約制で運営しています。

運営業務はNPO法人ECCOMが受託し、予約管理や感染症対策、遊具等の利用案内、展示・解説、絵本・玩具の貸し出し、メンテナンス等のほか、森林教育のイベントや森や木に関する絵本の読み聞かせ会なども定期的に行っています。



遊具で遊ぶ子どもたち



木工工作イベント

⑤ 生物多様性推進事業

担当課：みどり共生推進課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：⑤地域の身近な水や緑の環境づくり

1 事業の目的

活動団体や県民・事業者・行政などが連携して取り組む生物多様性の重要性に関する普及啓発や自然環境保全活動を推進し、県民みんなで森林生態系等の生物多様性の保全が図られる体制づくりを行うことで、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守り、生物多様性の保全を図ります。

2 事業の必要性

県では、これまで、地域の特性を踏まえた生物多様性の保全を進めるための地域戦略である「みえ生物多様性推進プラン」の取組方針に沿って、生物多様性に関する理解の促進を図るとともに、県民による地域の自然を守る保全活動など、地域と連携した取組を進めてきました。

その結果、自然環境の保全に取り組む活動団体数や希少種等の保全活動実施数が増加するなど、一定の成果が得られました。

一方で、近年、大規模な自然地の開発が増加しているほか、管理不足の里山等の増加、外来生物の増加など、森林生態系の置かれている現況は依然として厳しい状況にあります。

そのため、これまでの取り組みをさらに進めるとともに、今後は様々な主体と協力しながら生物多様性の保全に取り組んでいく必要があります。

3 事業の内容

生物多様性推進施策に必要な基礎的な情報の収集を行うとともに、自然環境保全上重要な地域について明確化し、広く県民や事業者等へ情報提供するなどにより、生物多様性に関する普及啓発に取り組めます。

また、自然環境保全団体や専門家と協力して生物多様性の保全を推進して行きます。

4 令和3年度生物多様性推進事業の進捗状況

(1) 野生生物の生息状況調査

生物多様性推進施策に必要な野生動植物種の基礎情報を把握するため、野生鳥類（ガン類、カモ類、ハクチョウ類、カワウ）の生息状況調査を実施します。（1月以降実施予定）

(2) 希少野生動植物種ゾーニングマップ

近年、開発圧力の高まっている里山における生物の多様性を保全していく上で重要な地域を明確化するため、里山環境を利用するサシバ（県指定希少野生動植物種）を指標生物として生息適地のゾーニングマップを作成します。（業務委託により実施中）

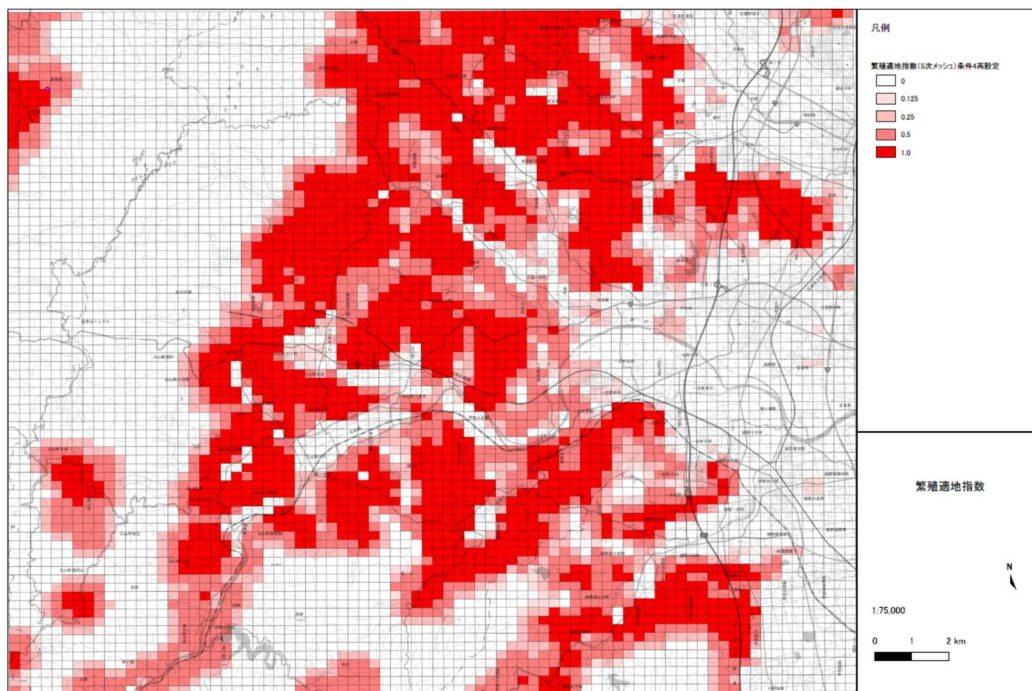


図. 里山環境の指標生物（サシバ）のゾーニングマップイメージ図



写真. 県指定希少野生動植物種 サシバ
（笹間俊秋氏より提供）

(3) 自然環境保全活動の支援

生物多様性保全活動について、専門家の派遣を行うなどにより支援を行いました。
(表1 参照)

表1. 自然環境保全活動の実施状況

対 象 種	活動時期	実 施 内 容
マメナシ	令和3年4月	保全活動団体、専門家とともに調査および保全活動を行った。
ギフチョウ	令和3年4月	保全活動団体、専門家とともに調査を行った。
ウシモツゴ	令和3年11月	保全活動団体、専門家とともに調査および保全活動を行った。
アゼオトギリ	令和3年6月	保全活動団体、専門家とともに保全活動を行った。
マイヅルテン ナンショウ	令和3年5月	保全活動団体、専門家とともに調査を行った。



写真. 保全活動の実施状況 (マメナシ)



写真. マメナシの花

⑥ 森林とふれあう自然公園環境整備事業

担当課：みどり共生推進課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：⑤地域の身近な水や緑の環境づくり

1. 事業の目的

地域の活動団体や市町等と連携し、自然公園や森林公園を活用した森林教育のイベントやガイドツアーなどの推進と、自然公園や森林公園にある歩道等の施設整備を行うことにより、県民が森林や緑と親しむ機会を創出し、身近な緑や水辺の環境と県民との関係を深めます。

2. 令和3年度事業進捗

1) 森林にふれあう活動の推進

県民が森林とふれあう機会を増大するため、県内にある自然公園内の園地や歩道、森林公園を活用して自然観察ツアーや森林教育イベントを行い、豊かな生態系の観察や森林のはたらきを伝えると共に、一人ひとりが健やかな森林を次世代に引き継ぐ大切さを感じることができる「県民全体で森林を支える社会づくり」のための自然教育と施設整備を行いました。

◆自然公園・自然歩道での取組状況



自然観察ツアー
ウォーキングツアーの状況



自然観察ツアー
ウォーキングツアーの状況



自然観察ツアー
ツアーガイドからの説明状況



自然観察ツアー
ツアーガイドからの説明状況



森林教育イベント（植樹体験）
参加者による植樹状況
（自然環境保全活動）



森林教育イベント（植樹体験）
参加者による植樹状況
（自然環境保全活動）



森林教育イベント（植樹体験）
参加者による植樹状況
（自然環境保全活動）



森林教育イベント（植樹体験）
参加者による植樹及びテレビ取材状況
（自然環境保全活動）

◆大杉谷登山歩道での取組状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
ガイドからの説明状況（森林教育）



自然観察ツアー&ボランティア整備
ガイドからの説明状況（森林教育）



自然観察ツアー&ボランティア整備
参加者による歩道の補修作業状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
参加者による歩道の補修作業状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
歩道補修（整備後）



自然観察ツアー&ボランティア整備
歩道補修（整備後）



自然観察ツアー＆ボランティア整備
参加者によるゴミ拾い作業状況
(自然環境保全活動)



自然観察ツアー＆ボランティア整備
集められたゴミ
(自然環境保全活動)

森林教育実績及び予定

令和3年12月31日 現在

自然公園名	自然公園施設名	実施場所	実施日	参加人数	内容
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	11月6日	6名	自然観察ツアー（神島ウォーキング）と海女さんふれあい体験
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道 及び横山園地	志摩市	11月28日	15名	自然観察ツアー（横山ウォーキング）とクラフトづくり
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	志摩市	12月5日	16名	自然観察ツアー（和具ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	12月11日	13名	自然観察ツアー（菅島ウォーキング）とクラフトづくり
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市 志摩市	12月19日	16名	自然観察ツアー（青峯山ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道 及び横山園地	志摩市	12月20日	14名	自然観察ツアー（横山園地）と注連縄づくり
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道 及び安乗園地	志摩市	1月30日（予定）	15名程度	自然観察ツアー（安乗ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	南伊勢町	2月27日（予定）	15名程度	自然観察ツアー（古和浦ウォーキング）
吉野熊野国立公園	大杉谷登山歩道	大台町	7月24、25日	15名	自然観察ツアー（トレッキング）と ボランティア整備（歩道整備、ゴミ拾い）
			10月23、24日	8名	自然観察ツアー（トレッキング）と ボランティア整備（歩道整備、ゴミ拾い）
鈴鹿国定公園	御在所岳園地	菟野町	10月9日	27名	森林教育イベント（植樹：自然環境保全活動）
自然公園外	三重県民の森	菟野町	3月上旬	10名程度	森林教育イベント（木製アスレチック遊具整備）
自然公園外	上野森林公園	伊賀市	3月上旬	20名程度	森林教育イベント（木製防護柵整備及び木製遊具作成）

3. 『みえ森と緑の県民税』による取り組みであることの周知方法

- ・自然観察ツアーや森林教育イベント（以下、イベントという。）の募集チラシや自然公園内での活動ポスター等に、『みえ森と緑の県民税』を活用していることが分かるように周知を行っています。
- ・イベントの参加者に対して、『みえ森と緑の県民税』のパンフレットなどの配布を行い、開催時の最初に参加者に対して、『みえ森と緑の県民税』の目的や認知度確認、並びに参加しているイベントが『みえ森と緑の県民税』の取り組みのひとつであることの周知を行っています。
- ・イベント開催中は、『みえ森と緑の県民税』によるイベントであることが分かるように『のぼり旗』を設置し、イベント参加者以外の方々にもPRを行っています。
- ・植樹活動や施設整備の修繕が行われた箇所には、『みえ森と緑の県民税』を活用して行われたことが分かるように看板やロゴマークの焼印を設置しています。
- ・ホームページやSNSなどを活用してイベントの状況を掲載しています。

◆ イベント開催募集チラシや自然公園内の活動状況ポスターでの周知状況

和具名物・手こね寿司お弁当付き もネロコース
～近畿自然体道をたどる～

和具を巡ろう

太平洋に面した志摩半島の南端の町・和具。造業の盛んな三重県の中でも、**「和具の造業基地」**、北に高良湾、南に熊野灘と海に囲まれた人情あふれる温暖な町です。今の季節は、何といても伊勢エビの最盛期。和具で造業される伊勢エビは造業量、品質とも最高で、「伊勢エビの産地は和具で決まる」と言われているほどです。白雲のバルブブリッジや太平洋に面した広の浜、古刹・和具観音堂などどこへいっても、そんな和具の町をめぐり散歩しましょう。

写真は、左から「おりの浜」「和具漁港の出港風景」「広の浜」「鹿かげ祭り」

日 時：令和3年12月5日(日) 9時30分～15時00分

場 所：文化会館～バルブブリッジ～観音堂～八景神社～おの達の町～和具島～広の浜 約6km

対 象：小学生以上（小学生は保護者の同伴が必要で、大人だけでも参加できます。）

定 員：20名（先着順）

集 合：志摩市和具536 志摩文化会館駐車場 集合（受付は9:15から行います。）

参加費：1,000円 大人、小人共済（手こね寿司弁当、和具観音堂拝観料を含みます）

持ち物：飲み物、おやつ、歩きやすい靴、服装は防寒性があつた動きやすいものを着用。

申込：伊勢エビが 伊勢志摩国立公園自然あふれ推進協議会

申し込み：参加者全員の氏名・住所・住所・電話番号を横山ビジターセンターまで連絡してください。

主催：一般財団法人 伊勢志摩国立公園協会 伊勢志摩国立公園自然あふれ推進協議会

協力：伊勢志摩国立公園パークボランティア連絡会

参加の申込・お問い合わせは、横山ビジターセンターへ

TEL 0599-44-0567（年中形休）
FAX 0599-46-0701
E-mail Yokoyama@itaroma.or.jp
住所 〒517-0501 三重県志摩市志摩町7875-24

*横山ビジターセンターは、津市・三重県・伊勢市・志摩市・志摩町・尾花町が組織する「伊勢志摩国立公園自然あふれ推進協議会」が運営し、「伊勢志摩国立公園パークボランティア連絡会」が運営協力しています。

鈴鹿国立公園の環境保全活動に

みえ森と緑の県民税

を活用しています。

～森林づくりを県民のみんなの力で～

鈴鹿国立公園の特産山菜には、さまざまな動植物が生育しており豊かな自然があるため年間を通して、県内外から多くの方々が訪れています。近年、鈴鹿国立公園内では、ニホンジカの被害による樹木の死傷や、用水、登山者の糞尿による土壌汚染が拡大しているため、「みえ森と緑の県民税」を活用し環境保全活動に取り組んでいます。

三重県

チラシやポスターでの周知状況
活動目的やロゴマークなどを記載

◆イベント開催時に活用したパンフレット



◆イベント開催中での周知状況



イベント開催中での周知状況
「みえ森と緑の県民税」のぼり旗を設置

◆施設整備を行った箇所の周知状況



自然環境保全活動を行った箇所の周知状況
「みえ森と緑の県民税」の看板を設置



施設整備を行った箇所の周知状況
「みえ森と緑の県民税」ロゴマークを設置

◆ホームページでのイベント実施状況の周知

三重県 Mie Prefectural Government

サイト内検索

暮らし・環境 防災・防犯 健康・福祉・子ども スポーツ・教育・文化 観光・産業・しごと まちづくり 県政・お知らせ情報 組織・業務

現在位置: トップページ > 暮らし・環境 > 自然環境 > 自然公園 > お知らせ >
『みえ森と緑の県民税』を活用して、御在所岳山頂で自然環境保全活動イベントを開催しました！
担当所属: 県庁の組織一覧 > 農林水産部 > みどり共生推進課 > 自然公園班

LINEで送る 印刷する

自然公園

- お知らせ
- 三重の自然公園
- 国立公園清喫プロジェクト
- 長距離自然歩道

『みえ森と緑の県民税』を活用して、御在所岳山頂で自然環境保全活動イベントを開催しました！

三重県では、「みえ森と緑の県民税」を活用し、県民全体で森林を支える社会づくりに取り組んでいます。

今回、令和3年10月9日（土）に、「鈴鹿国立公園」内、三重郡菟野町の御在所岳山頂で、自然環境保全イベントを開催しましたのでご紹介します！

自然環境保全活動を行った箇所の周知状況
三重県ホームページへの掲載

みえ森と緑の県民税市町交付金事業の概要

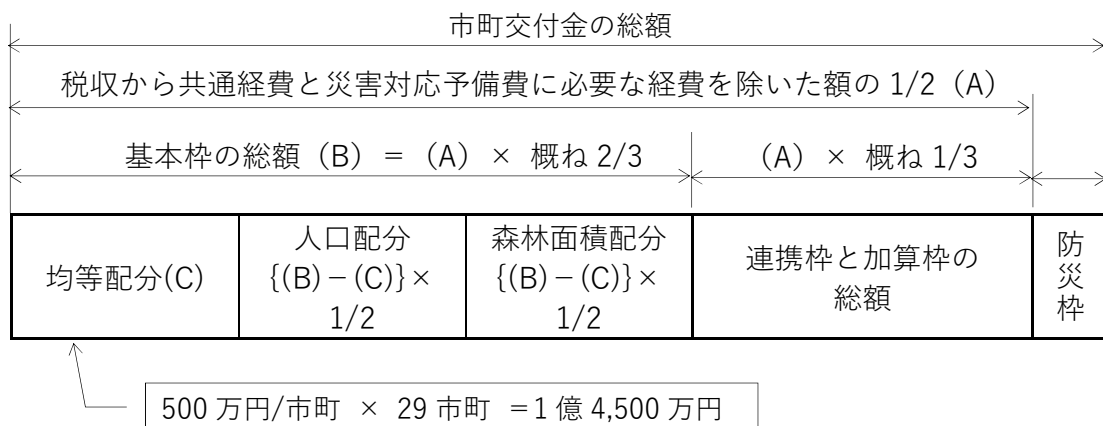
担当課：みどり共生推進課

この事業は、「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開すること、また県と市町が連携して課題解決に取り組むことができるよう、予算の範囲内でみえ森と緑の県民税市町交付金（以下「市町交付金」と言う。）を交付するものです。

1. 市町交付金の総額

毎年度のみえ森と緑の県民税の税収から共通経費や災害対策予備費を除いた残りの概ね半分※の「基本枠」「加算枠」及び「連携枠」と、災害対策予備費の一部の「防災枠」を市町交付金の総額とします。

（※5年間の総額で、県：市町を概ね5：5とする。）



2. 市町への配分方法

市町交付金には、森林面積や人口を算定基礎として一定のルールに従って配分する「基本枠」と、県と市町が連携して取り組むべき課題に対し、市町からの事業量の申請に応じて配分する「連携枠」、森林面積が寡少（100ha 未満または森林率が10%未満）な市町に対し、市町からの事業計画申請等に基づいて配分する「加算枠」があります。

基本枠の総額と連携枠と加算枠を合算した額の割合は、概ね 2：1 の割合とします。

また、令和2年度より、台風等による倒木からライフラインを保全し、県民の安全・安心な生活を守るため、「防災枠」を創設しました。

基本枠	均等配分として、各市町へ均等に一定額（500万円）を配分し、残りを人口配分（市町の人口割合に応じて配分。）と、森林面積配分（市町の森林面積割合に応じて配分）の3つの配分方法を組み合わせて配分しますが、この時の配分率割合は人口：森林面積＝5：5とします。
連携枠	面的な森林整備や獣害対策など、県と市町が連携して取り組むべき課題に対し、市町からの事業量の申請に応じて配分します。
加算枠	森林面積が寡少（100ha未滿または森林率が10%未滿）の市町に対し、市町からの事業計画申請等に基づいて配分します。 なお、5年間の申請上限額は1,000万円とします。
防災枠	防災面から県と市町が連携して取り組むライフラインを守る事前伐採に対し、市町からの要望に応じて配分します。

3. 市町交付金の使い途

1) 事業実施の3原則

事業の実施に当たっては、次の3つの原則全てを満たさなければなりません。

事業実施の3原則	
【原則1】	「2つの基本方針と5つの対策」に沿った内容であること。
【原則2】	新たな森林対策として実施する新規又はこれに準ずる取組であること。なお、税導入以前から取り組まれている事業の場合は、新たな視点を取り入れた対策とすること。
【原則3】	直接的な財産形成を目的とする取組でないこと。

2) 森林環境譲与税との関係

みえ森と緑の県民税と森林環境譲与税を活用した事業の相乗効果を期待し、双方を有効に活用するため、市町交付金と森林環境譲与税を同一事業に充当することはできません。

3) 市町における基金設置について

市町は、次の見直しまでの期間、交付金事業の財源に充てるための基金を設置することができます。

⑦-ア- a 流域防災機能強化対策事

流域の防災機能を強化するため、面的な森林整備に県と市町が連携して取り組むことで、森林が有する土砂流出防止等の公益的機能の高度発揮を図り、「災害に強い森林づくり」を推進します。

<事業対象区域>

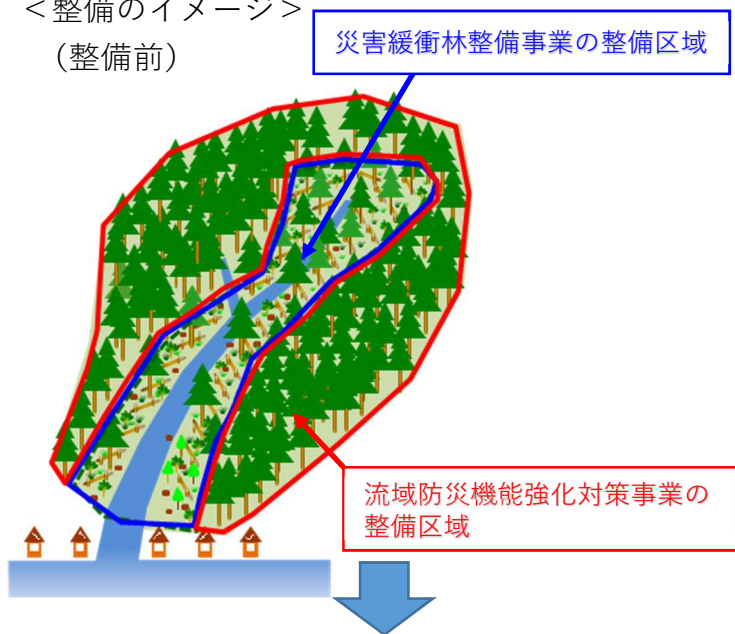
県が実施する災害緩衝林整備事業の整備範囲の森林と一体的に整備する区域、環境林、特定水源地域

<事業の内容>

県が行う災害緩衝林整備事業に準じた森林整備

<整備のイメージ>

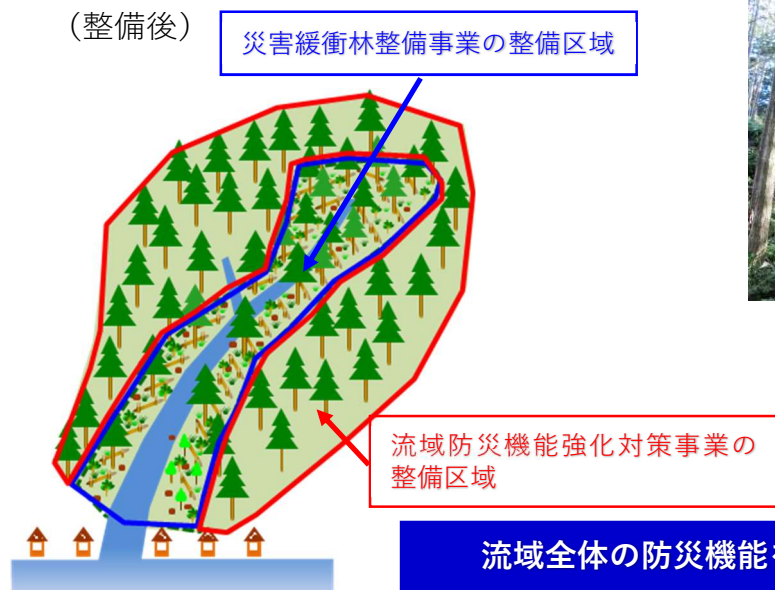
(整備前)



整備前のイメージ
根系や下層植生の発達が不十分



(整備後)



整備後のイメージ
森林整備の実施により、根系や下層植生が発達

流域全体の防災機能を強化

⑦-ア-b 森林再生力強化対策事

流域の防災機能を強化するため、獣害対策に県と市町が連携して取り組むことで、森林が有する土砂流出防止等の公益的機能の高度発揮を図り、「災害に強い森林づくり」を推進します。

獣害防止施設等整備

<事業の内容>

○市町村森林整備計画において指定された鳥獣害防止森林区域内において、森林所有者等が行う獣害防止施設等の設置や補修に対して支援

○支援した箇所においては、森林所有者等が施設の定期的な点検や更新状況の確認を実施



防護柵設置のイメージ

的確な獣害防止対策の実施

ニホンジカの捕獲等

<事業の内容>

○鳥獣害防止森林区域内における獣害防止施設等の整備箇所周辺において、ICT等の新たな技術を用いた捕獲をモデル的に実施する市町に対して支援

○市町は、ICT等の新たな技術を用いることによる見回り作業の省力化や効果的な捕獲に関する検証を実施



捕獲のイメージ
自動撮影カメラによる遠隔監視

効果的な捕獲による被害軽減

植栽地の確実な更新

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業（連携枠）の進捗状況

R3.12.31 現在

市町	流域防災機能強化対策事業		森林再生力強化対策事業 (獣害防止施設等整備)		森林再生力強化対策事業 (ニホンジカの捕獲等)	
	事業量 (計画)	進捗	事業量 (計画)	進捗	事業量 (計画)	進捗
津市	82.00ha	森林調査中	6,200m	実施中		
松阪市	14.52ha	森林整備実施中 14.52ha	8,373m	補助済		
多気町	10.94ha	森林調査中	924m	補助済		
大台町	114.99ha	森林整備実施中 114.99ha	3,961m	実施中		
度会町	21.00ha	森林整備実施中 21.00ha				
大紀町	12.00ha	森林整備完了 12.00ha	400m	実施中		
志摩市	11.47ha	森林整備実施中 11.47ha				
伊賀市	42.17ha	森林調査中 10.00ha 森林整備実施中 32.17ha				
名張市	39.70ha	森林整備実施中 39.70ha				
尾鷲市	8.67ha	森林整備実施中 8.67ha	940m	補助済		
紀北町	13.00ha	森林整備実施中 13.00ha	4,722m	実施中 補助済 2,240m		
熊野市	12.01ha	森林調査中 7.01ha 森林整備実施中 5.01ha	2,457m	実施中		
紀宝町	20.00ha	森林調査中 9.22ha 森林整備実施中 10.78ha				
計	402.47ha	森林整備実施中 283.31ha	27,977m	補助済 12,477m		

令和 3 年度流域防災機能強化対策事業 実施状況

多気町

実施前



実施後



令和 3 年度森林再生力強化対策事業 実施状況

紀北町

実施前



実施後



みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業 税事業PR状況

ポスター掲示（県伊賀庁舎）



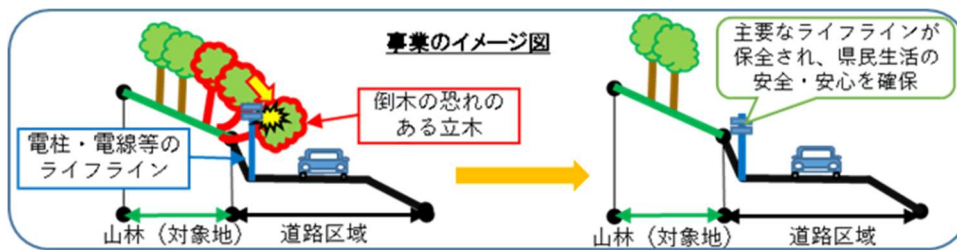
⑦-イ 災害からライフラインを守る事前伐採事業

<事業の目的>

台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採に取り組むことで、県民の安全・安心な生活環境を守る森林づくりを推進します。

<事業の対象>

- 森林法第2条に定義する森林
- 台風等の倒木被害により、ライフラインを寸断させる恐れのある樹木



配電線の倒木被害例

<事業の内容>

ライフライン事業者、市町及び県が連携して、台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採に取り組む事業

- 伐採調査：事業の対象となる箇所において、伐採施工前に実施する調査等
 - ア 伐採施工範囲や伐採本数にかかる現地調査
 - イ 伐採対象木の所有者の明確化及び承諾交渉
 - ウ 図面及び設計根拠資料の作成
 - エ その他、知事が必要と認めた事項
- 伐採施工：事業の対象となる箇所における以下の作業
 - ア 台風等の倒木被害により、ライフラインを寸断する恐れのある樹木等の伐採・除去
 - イ 伐採木の造材・集積及び処理
 - ウ 伐採後の植栽及び獣害防止施設等の整備
(ただし、樹高等によりライフラインに影響を与えない樹種に限る)



事業実施前



事業実施後

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業（防災柵）の進捗状況

R3.12.31 現在

市町	事業量 (見込み)	事業費 (円)	内防災柵 (円)	進捗
四日市市	900 本	8,000,000	2,000,000	三者協定済 実施中
鈴鹿市	6 本	2,948,000	737,000	三者協定済 実施中
亀山市	60 本	1,221,000	305,250	三者協定済 実施中
菰野町	25 本	1,600,000	400,000	三者協定済 実施中
津市	300 本	12,000,000	3,000,000	三者協定済 実施中
松阪市	572 本	12,200,000	3,000,000	三者協定済 実施中
多気町	69 本	1,188,000	275,000	三者協定済 実施中
大台町	608 本	14,159,707	3,538,000	三者協定済 実施中
度会町	400 本	4,000,000	1,000,000	三者協定済 実施中
名張市	132 本	4,800,000	1,200,000	三者協定済 実施中
計	3,072 本	62,116,707	15,455,250	

令和3年度災害からライフラインを守る事前伐採事業 実施状況

大台町



実施前

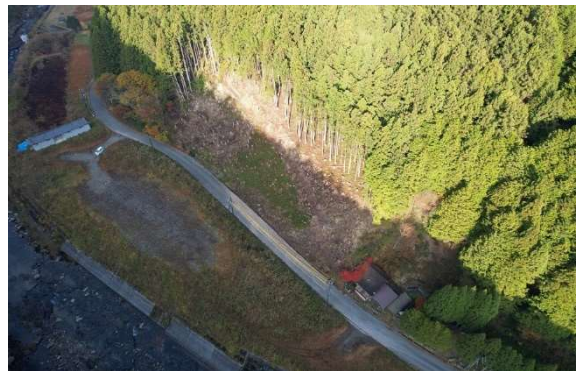


実施後

松阪市



実施前



実施後

大台町



実施中



実施後

令和3年度災害からライフラインを守る事前伐採事業
実施状況



県民税P R（伐採実施中 松阪市）



県民税P R（伐採実施中 松阪市）

⑦ーウ みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業

担当課：みどり共生推進課

基本方針：1、2

対策区分：1，2，3，4，5

1 事業の目的

森林所有者や事業者、森林づくりに取り組む団体等と主体的に接点を持ちながらパートナーシップを築き、地域の森林づくりのリード役となる市町が、市町交付金を活用することで、地域の実情に応じて創意工夫して森林づくり等の施策を展開します。

2 事業概要

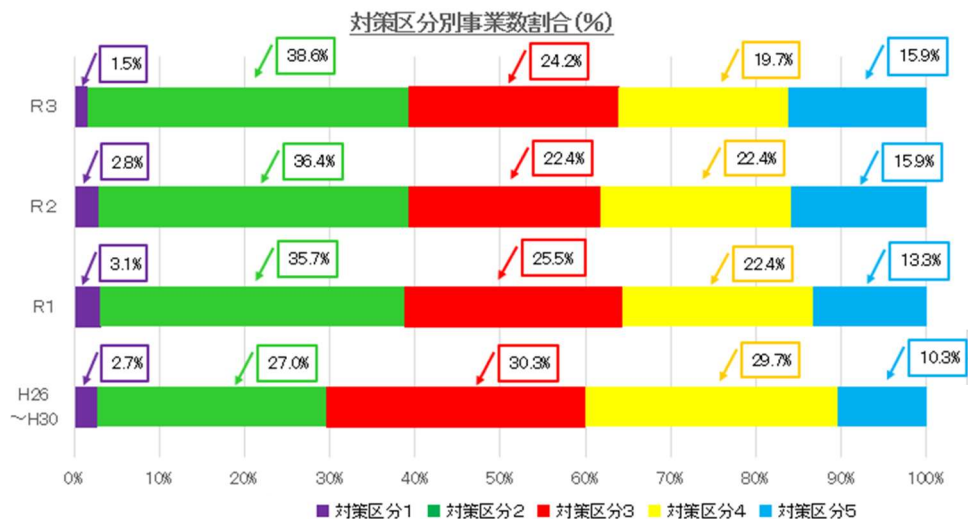
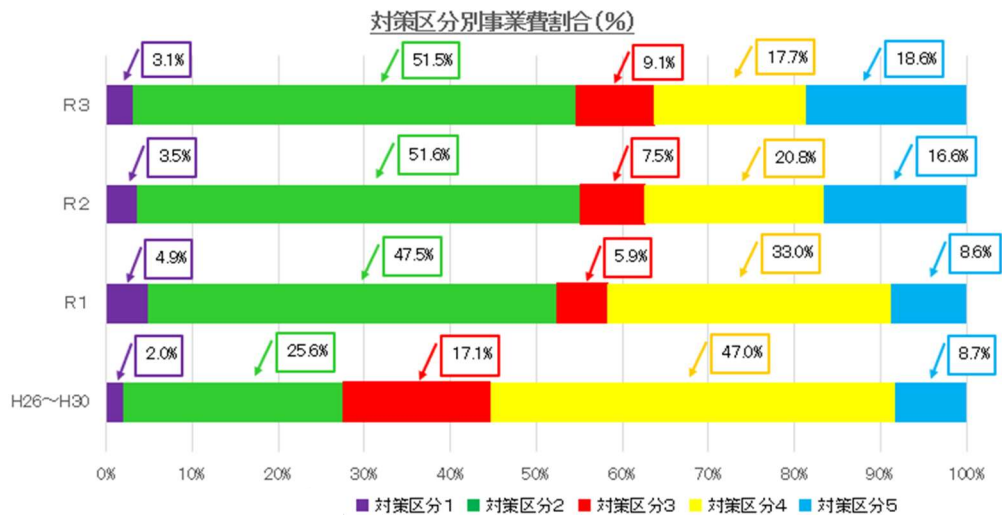
1市町当たり500万円の均等配分と、森林面積配分、人口配分の3つの配分方法を組み合わせた「基本枠交付金」と、森林面積が100ha未満または森林率が10%未満である市町からの申請に基づき、5年間の累計申請上限額1,000万円とする「加算枠交付金」を交付します。

この交付金を財源に、市町は、事業実施の3原則を満たし、森林環境譲与税と目的・用途を区分したうえで、森林づくり等の施策を展開します。

みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 対策区分別一覧

(基金活用額を含む)

対策区分	対策内容	活用額（円）				事業数（事業）			
		H26～H30	R 1	R 2	R 3	H26～H30	R 1	R 2	R 3
1	土砂や流木を出さない森林づくり	49,866,157	17,001,600	9,977,537	11,363,000	14	3	3	2
2	暮らしに身近な森林づくり	635,878,895	164,386,151	146,755,195	186,027,950	141	35	39	49
3	森を育む人づくり	423,275,715	20,339,323	21,463,756	32,940,200	158	25	24	32
4	森と人をつなぐ学びの場づくり	1,168,678,649	114,201,787	59,197,482	64,001,800	155	22	24	26
5	地域の身近な水や緑の環境づくり	207,975,329	30,293,430	47,207,723	67,179,100	54	13	17	21
合計		2,485,674,745	346,222,291	284,601,693	361,512,050	522	98	107	130



令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別一覧

【四日市市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額（円）	基金活用額（円）	事業内容	進捗状況
2	小学校支障木伐採業務委託	4,991,000		市が実施する、小学校における危険木の伐採等	実施中
2	中学校支障木伐採業務委託	4,857,000		市が実施する、中学校における危険木の伐採等	実施中
2	都市公園危険木処理事業	5,000,000		市が実施する、都市公園の危険木の伐採等	実施中
2	里山・竹林環境保全支援事業	2,000,000		活動団体による、里山や竹林の整備に対する支援	実施中
2	危険木等除去支援事業	1,000,000		自治会等が実施する、通学路沿いの危険木の伐採等に対する支援	未着手
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	2,000,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
4	認定こども園備品整備事業	2,000,000	3,715,000	市が実施する、認定こども園における木製備品（机・椅子等）の導入	実施中
4	木とふれあう環境づくり事業（少年自然の家管理運営費）		2,995,000	市が実施する、少年自然の家における木製備品（机・椅子等）の導入	実施中
4	木とふれあう環境づくり事業（市民活動センター運営費）	1,153,000		市が実施する、市民活動センターへの木製備品（机、イス等）の導入	実施中
四日市市計		23,001,000	6,710,000		

【桑名市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額（円）	基金活用額（円）	事業内容	進捗状況
2	里山再生・竹林整備推進事業	4,931,000		市が活動団体に委託して実施する、荒廃した竹林の整備	実施中
4	学校の森 再生事業	3,055,000		私立小学校における、学校林整備への支援	実施中
5	播磨2号緑地里山整備事業	534,000		市が活動団体に委託して実施する、森林公園内の散策路整備等	実施中
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	5,113,000		森林教育を実施するために公共施設を木造・木質化するための基金積立	-
桑名市計		13,633,000	0		

【鈴鹿市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額（円）	基金活用額（円）	事業内容	進捗状況
2	暮らしを守る森林保全事業	683,000		市が実施する、海岸線や人家周辺の病虫害被害木の伐採と樹幹注入、及び地元小中学生による植栽	未着手
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	1,000,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	完了

3	森林環境教育支援事業	200,000		市民団体が行う、県産材を使った木工体験への支援	実施中
3	緑に親しむ記念樹贈呈事業	220,000		市が実施する、植木まつり会場での記念樹配布とアンケート調査	未着手
3	国体スタッフ木製記念品配布事業	2,190,000	1,310,000	市が実施する、国体スタッフへの木製記念品配布	完了
3	森と緑の生涯学習講座	770,000		市が実施する、公民館での「森と緑の生涯学習講座」の開催	実施中
4	図書館木製備品購入事業	1,000,000		市が実施する、図書館への木製備品（机・椅子）の導入	実施中
4	公立保育所及び公立幼稚園棚等設置事業	2,850,000		市が実施する、保育所や幼稚園の木製備品（棚、下駄箱、遊具等）の導入	実施中
5	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	2,680,000		地域団体等が行う、天然記念物等の樹木の樹木診断と樹木治療等への補助	実施中
5	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト	1,320,000		市が実施する、地域のシンボルツリーである長太の大楠の樹木診断と樹木治療等	実施中
5	馬場公園木製休憩所設置事業	2,000,000		地域づくり協議会が実施する、公園へのパーゴラ設置に対する支援	実施中
5	ホテルの里森林及び生物観察用橋設置事業	2,000,000		地域づくり協議会が実施する、生物観察等のための木製歩道柵及び水路上の木製橋の設置への支援	実施中
鈴鹿市計		16,913,000	1,310,000		

【亀山市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	集落周辺の森林整備事業（危険木等伐採）	2,000,000		市が実施する公共施設周辺や道路上の危険木の伐採等	完了
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	375,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	完了
3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	1,000,000		協議会が実施する、山の日のイベント等の開催	実施中
4	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）	1,485,000		市が幼稚園や保育園等で実施する、木製遊具の組立イベントと木製遊具の導入	実施中
4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）	1,282,000		市が実施する、森林公園の八橋のリニューアル	実施中
4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（JR加太駅舎改修）	1,000,000		市が実施する、駅舎改修に伴う木製机・椅子の導入	実施中
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	4,000,000		図書館に木製備品を導入するための基金積立	-
亀山市計		11,142,000	0		

【いなべ市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	危険木の除去事業	3,500,000		自治会が実施する、人家裏や通学路沿いの危険木の伐採等への支援	実施中

2	危険木の除去事業（主要道路）	639,250		市が実施する、主要道路の交通の支障になる危険木の伐採・除去	実施中
2	鳥獣害につよい森林整備事業	4,000,000		市が実施する、鳥獣害防止のための森林整備（間伐等）	実施中
3	中学校卒業記念品配布事業	959,750		市が実施する、市産材で作成した記念品（箸）の中学卒業生への配布	実施中
3	森林環境教育支援事業	200,000		市が小学校等で実施する、森林環境教育活動	実施中
4	「冒険の森」整備事業	1,600,000		市が実施する、アスレチック施設の整備に向けた測量・設計	未着手
いなべ市計		10,899,000	0		

【木曾岬町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	暮らしを守る緑保全事業	4,167,550	8,640,576	市が実施する、クビアカツヤカミキリによる被害から桜並木を保全するための取組	実施中
3	森林環境教育事業	1,181,450		町が中学生を対象に実施する、野外体験	未着手
木曾岬町計		5,349,000	8,640,576		

【東員町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	危険木伐倒等業務	1,309,000		町が実施する人家裏や通学路沿いの危険木の伐採等	完了
4	教育施設の備品等購入	5,153,000	1,500,000	町が実施する、保育園・幼稚園への木製遊具の導入	実施中
東員町計		6,462,000	1,500,000		

【菰野町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	病虫害被害木伐採搬出事業	2,000,000		土地所有者等が実施する病虫害による被害木の伐採等への支援	実施中
2	危険樹木伐採事業	400,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
5	菰野富士ふるさとの山環境整備事業	5,700,000		町が実施する、バリアフリー木道の整備	実施中
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	669,000		町が実施する、バリアフリー木道の整備のための基金積立	-
菰野町計		8,769,000	0		

【朝日町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	3,400,000		町が実施する、竹を活用したイベントやワークショップの開催	実施中

4	森と緑とふれあう環境づくり事業 (幼保一体化施設)	1,500,000		町が実施する、子育て施設(あさひ園)の芝生の維持管理	実施中
4	森と緑を大切に思う人づくり事業 (教育文化施設)	180,000		町が実施する、子育て施設(あさひ園)への木製遊具の導入	実施中
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	541,000		自治区等が自主的に行う竹林整備への支援のための基金積立	-
朝日町計		5,621,000	0		

【川越町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
3	川越中学校自然教室	885,000		町が川越中学校の1年生を対象に実施する野外体験	完了
3	川越北小学校自然教室	671,000		町が川越北小学校の5年生を対象に実施する野外体験	完了
3	川越南小学校自然教室	408,000		町が川越南小学校の5年生を対象に実施する野外体験	完了
4	川越南小学校図書室机・椅子整備事業	3,591,000		町が実施する、小学校の図書館への木製机・椅子の導入	実施中
4	総合センター椅子整備事業	268,000		町が実施する、総合センターへの木製机・椅子の導入	完了
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	9,188,000		町が実施する、あいあいホールの内装の木質化のための基金積立	-
川越町計		15,011,000	0		

【津市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	津市林地残材搬出促進事業	28,420,000		事業者が実施する、未利用間伐材を木質バイオマス利用するための搬出に対する支援	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,000,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
3	津市森林環境教育事業	500,000		市が実施する、「夏休み森と緑の親子塾」と「まるごと林業体験」の開催	完了
3	美里水源の森「林業体験」事業	250,000		地元協議会が美里水源の森で実施する、林業体験への支援	未着手
津市計		32,170,000	0		

【松阪市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	里山の森林安全安心対策事業	12,649,000		市が実施する、集落や公共施設周辺の危険木の伐採等	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,000,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
3	森林環境学習事業	2,900,000		市が小学校を対象に実施する、森林環境教育活動	実施中
3	松阪の木魅力発信活動事業	300,000		地域団体が実施する「松阪フェス木バル」への支援	実施中

4	保育園木育推進事業	2,000,000		市が保育園で実施する、木製備品の導入と木育絵本の読み聞かせ	実施中
5	都市公園整備事業	2,000,000		市が実施する、都市公園内への木製ベンチの設置	実施中
5	松浦武四郎記念館木育推進事業	3,000,000		市が実施する、資料館における東屋の設置	実施中
松阪市計		25,849,000	0		

【多気町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	275,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
4	木とふれあう環境づくり事業	6,802,000		町が実施する小学校や保育園への木製備品や木製玩具の導入	実施中
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	433,000		小中学校などに木製遊具や木製備品を導入するための基金積立	-
多気町計		7,510,000	0		

【明和町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	松林整備事業	2,000,000		町が実施する、海岸沿いの松林における病害虫被害木の伐採等	実施中
5	木質構造物整備事業	5,345,000	5,941,400	町が実施する、公園広場への東屋や歩道の整備	実施中
明和町計		7,345,000	5,941,400		

【大台町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,866,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
2	集落周辺等危険木伐採事業	9,017,000		町が実施する、集落周辺や人家裏の危険木の伐採	実施中
3	森林環境教育事業	650,000		町が実施する、地元高校生によるキノコ栽培の体験学習や森林利用に関して学ぶ機会の創出	実施中
大台町計		13,533,000	0		

【伊勢市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	森林整備事業	8,514,000		市が実施する、海岸沿いの松林における病害虫被害木の伐採、地上散布、樹幹注入等	実施中
3	三重とこわか国体おもてなし事業	1,000,000		市が実施する、三重とこわか国体参加者への木製記念品配布	完了
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	5,636,000		小中学校や保育園の木質化のための基金積立	-
伊勢市計		15,150,000	-		

【鳥羽市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	危険木伐採事業	7,183,000	616,100	市が実施する、人家裏や通学路等に隣接する危険木の伐採又は剪定	実施中
2	森林病虫害防除樹幹注入業務委託	500,000		市が実施する病虫害被害防止のための樹幹注入	完了
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	500,000		危険木伐採のための基金積立	-
鳥羽市計		8,183,000	616,100		

【志摩市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	災害に強い森林づくり事業	4,622,000		市が実施する、人家裏や道路沿いの危険木の伐採	実施中
2	松くい虫防除事業	1,171,000		市が実施する松林公園や景勝地の松枯れや蔓延を防ぐための被害木伐採	実施中
3	森と緑ふれあい事業	570,000		市が実施する、木工体験や森林にふれあう体験などの体験学習	完了
4	観光農園整備事業	960,000		市が実施する、公共施設への木製遊具やベンチの導入	未着手
5	創造の森横山遊歩道整備事業	3,000,000		市が実施する、創造の森横山の遊歩道整備	実施中
志摩市計		10,323,000	-		

【玉城町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
3	森林環境教育・木育事業	400,000		町が保育園や小学校で実施する、森林教育	実施中
4	公共施設整備事業	278,300	0	町が実施する、公共施設の内装の木質化に向けた設計	完了
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	5,535,700		市が実施する、公共施設の内容の木質化のための基金積立	-
玉城町計		6,214,000	-		

【度会町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	危険木伐採事業	1,800,000		町が実施する、生活道路沿いの危険木の除去	未着手
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	1,026,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
3	森林環境教育推進事業	200,000		町が実施する、小学生を対象とした森林・林業に関する出前授業の実施	未着手
4	県産材を活用した木製備品整備事業	5,000,000		町が実施する、小学校や保育園等への木製備品の導入	実施中
5	森と人が共存する環境づくり事業	700,000		町が実施する、登山歩道への入山ポストの設置	実施中
度会町計		8,726,000	-		

【大紀町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
1	溪流倒木等処理事業	4,000,000		町が実施する、山間部溪流沿い等の倒木や流木の除去	実施中
2	生活環境林整備事業	4,000,000		町が実施する、人家裏や通学路沿いの危険木の除去	実施中
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	3,327,000		水道水源林を町有化するための基金積立	-
大紀町計		11,327,000	-		

【南伊勢町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	危険木除去事業	2,400,000		町が実施する、公共施設周辺や通学路、避難路等の危険木除去	完了
3	森林環境教育事業	306,000		森や緑について学び、森林や木材にふれあうことを目的とした木育教育の実施	未着手
5	阿曾浦公園ウッドチップ舗装整備事業	8,810,000		町が実施する、公園へのウッドチップ舗装の整備	完了
南伊勢町計		11,516,000	-		

【名張市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	危険木伐採事業	3,000,000		市が実施する、公共施設周辺及び通学路等の危険木の撤去	実施中
2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	1,400,000		搬出登録者が実施する、未利用間伐材の木質バイオマス利用のための搬出運搬への支援	実施中
2	人家裏危険木伐採事業	1,500,000	603,447	地域住民による人家裏の危険木の伐倒に対する支援	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	1,200,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
3	みて・さわって・森のわくわく体験事業	462,000		市が公立保育園及び幼稚園を対象に実施する、野外体験保育	未着手
3	森林環境教育推進事業	100,000		学校単位の実行委員会が実施する、小学校における森林環境教育に対する支援	実施中
4	県産材に親しむことができる木育推進事業	1,470,000		市が公立保育園・公立幼稚園で実施する、県産材の木製遊具の導入と森林教育活動	未着手
4	学校林整備事業	900,000		活動団体が実施する、学校林における遊歩道、広場等の整備への支援	実施中
5	森林公園等環境活用整備事業	640,000	300,000	地域づくり組織が実施する、森林公園等の整備に対する支援	実施中
5	桜並木保全管理事業	300,000		活動団体による桜並木保全活動の支援	未着手
5	無形民俗文化財保全事業	300,000		活動団体による無形文化財保全のための森林整備に対する支援	実施中
名張市計		11,272,000	903,447		

【伊賀市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	みんなの里山整備活動推進事業	6,840,000		自治会等が実施する、集落周辺の里山、竹林整備に対する支援	実施中
2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	5,000,000	1,000,000	搬出登録者が実施する、未利用間伐材の木質バイオマス利用のための搬出運搬への支援	実施中
3	親子ではじめる木育推進事業	2,778,000		市が実施する、出生児、一歳児、三歳児を対象に、写真立て、スプーン及び箸の配布	実施中
3	伊賀の森っこ育成推進事業	3,000,000		実行委員会が実施する、小中学校における森林環境教育に対する支援	実施中
3	地域の森と緑のつながり支援事業	981,000		住民自治協議会等が実施する、森林関連研修等の開催と、住民団体による森林関連イベント開催に対する支援	実施中
3	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	700,000		事業体等が高校生と連携して行う、地域材を活用した木製品開発への支援	実施中
伊賀市計		19,299,000	1,000,000		

【尾鷲市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	人家裏危険木伐採事業	1,566,000		自治会等による、人家裏の危険木伐採に対する支援	実施中
2	尾鷲市集落周辺森林（里山）整備事業	332,000		活動団体等が主体となり取り組む、集落周辺の森林整備や歩道整備等の保全活動に対する支援	未着手
2	野地町駅前児童公園ほか整備事業	4,000,000		市が実施する、公園等における危険木伐採	実施中
3	木とふれあう学校環境づくり事業	214,000		市が実施する、過去に市町交付金事業で導入した机・椅子の修繕	実施中
5	野鳥の小径遊歩道等整備事業	1,647,000		市が実施する、森林公園の案内看板の設置	実施中
5	中村山公園整備事業	2,076,000		市が実施する、自然に触れ合える機会を設け、豊かな生活環境を実現するための中村山公園の整備	実施中
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	409,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採のための基金積立	-
尾鷲市計		10,244,000	0		

【紀北町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
1	河川周辺森林立枯木等整備事業	5,959,000	1,404,000	町が実施する、河川沿いの枯損木の伐採撤去	実施中
2	危険木伐採事業	4,200,000		自治会等による、人家裏の危険木の伐採に対する支援	実施中
2	集落周辺森林（里山）整備事業	225,000		活動団体等が行う集落周辺等の荒廃した森林の整備や歩道整備に対する支援	実施中

3	森林環境教育活動支援事業	650,000		小中学生を対象とした森林環境教育活動や木育活動の実施	実施中
紀北町計		11,034,000	1,404,000		

【熊野市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	森林病害虫等防除実施事業	2,123,000		市が実施する、松くい虫防除のための伐倒駆除とくん蒸処理等	実施中
2	暮らしを守る危険木伐採事業	507,000		市が実施する、集落間を結ぶ生活道路沿いにおける倒木等の恐れのある危険木等の伐採除去	実施中
3	クマノザクラ整備・保安全管理等事業	2,384,000		市が実施する、クマノザクラの苗木の設置と保全	実施中
5	森とふれあいの場拠点づくり事業	4,291,000	7,397,000	市と協力団体が実施する、森や緑と触れ合える森林公園等の整備	実施中
5	景勝林等保護事業	5,129,000		市が実施する、天狗巣病の桜の木における処置	実施中
熊野市計		14,434,000	7,397,000		

【御浜町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
4	道の駅等木製看板設置事業	2,200,000	3,190,000	道の駅への県産材の看板設置	実施中
4	木製品導入事業		1,000,000	民間事業者が行う県産材什器を活用した木育活用への支援	未着手
4	中央公民館木質化事業	3,207,000		公民館への県産材を活用した木製品の導入	実施中
5	森林公園等環境整備事業	1,668,000	700	住民に親しまれている身近な登山道と隣接する公園の整備	実施中
御浜町計		7,075,000	4,190,700		

【紀宝町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	生活環境林整備事業	4,979,027		町が実施する、公共施設の周辺や生活道路沿いの緑地における危険木等の伐採及び剪定	実施中
3	森と緑の環境教育事業	1,200,000		町が実施する、森や緑に関する講演会やワークショップの開催	実施中
4	放課後児童クラブ施設木製品購入事業	755,973	1,911,527	町が実施する、児童施設への木製机・椅子の導入	実施中
5	クマノザクラ整備事業	400,000		町及び活動団体が実施する、クマノザクラの植栽とその管理	実施中
紀宝町計		7,335,000	1,911,527		

みえ森と緑の県民税制度運営事業

担当課：みどり共生推進課

1. 事業の目的

この事業は、みえ森と緑の県民税の制度が円滑に運営されるよう、県民への周知や評価委員会の設置・運営等を行うものです。

2. 令和3年度事業進捗状況

1) みえ森と緑の県民税評価委員会の運営

令和3年7月に第1回評価委員会を、8月に第2回評価委員会を開催し、令和3年8月19日付け森緑評第10号によりみえ森と緑の県民税基金事業の実施後の評価について、答申を受けました。

また、9月に「みえ森と緑の県民税にかかる意見交換会」を開催し、評価委員と事務局における意見交換をしました。

みえ森と緑の県民税評価委員会委員

委員氏名	所属団体等	分野
石川 知明	三重大学大学院生物資源学研究科 教授	学識経験者
上ノ坊 淳	三重県小中学校長会 幹事	教育
大浦 由美	和歌山大学観光学部 教授	学識経験者
新海 洋子	一般社団法人SDGs コミュニティ [®] 代表理事	NPO 活動
林 拙郎	三重大学名誉教授	学識経験者
藤井 恭子	皇學館大学現代日本社会学部 准教授	学識経験者
松井 寿人	三重県中小企業団体中央会 事務局長	商工
三田 泰雅	四日市大学総合政策学部 教授	学識経験者
矢田 真佐美	三重県地域婦人団体連絡協議会 副会長	消費者
吉田 正木	吉田本家山林部 代表	林業

五十音順・敬称略 令和3年12月末現在

1-1) 評価委員会概要

【令和3年度第1回みえ森と緑の県民税評価委員会】

- 日時 令和3年7月9日（金） 9時30分から12時10分
- 場所 三重県勤労福祉会館 6階 講堂
- 出席委員 9名（うち、4名がリモート参加）

4 議題

- (1) 令和2年度みえ森と緑の県民税基金事業の実績
- (2) 令和2年度市町別総合評価についての情報交換
- (3) みえ森と緑の県民税基金事業に関する報告事項

5 会議の公開・非公開 公開

6 傍聴者 10名



令和3年度第1回みえ森と緑の県民税評価委員会

【令和3年度第2回みえ森と緑の県民税評価委員会】

1 日時 令和3年8月19日(木) 13時30分から16時00分

2 場所 アスト津 4階 アストホール

3 出席委員 9名(うち、4名リモート参加)

4 議題

- (1) 令和3年度第1回みえ森と緑の県民税評価委員会での意見
- (2) 令和2年度みえ森と緑の県民税基金事業の評価

5 会議の公開・非公開 公開

6 傍聴者 4名



令和3年度第2回みえ森と緑の県民税評価委員会

1-2) みえ森と緑の県民税にかかる意見交換会

- 1 日時 令和3年9月29日(水) 13時30分から16時30分
- 2 場所 三重県合同ビル 2階 G201会議室
- 3 出席委員 9名(うち、3名がリモート参加)
- 4 内容
 - (1) みえ森と緑の県民税について(概要説明)
 - (2) みえ森と緑の県民税基金事業の実施後の評価・提言

2) みえ森と緑の県民税の普及啓発

ポスターの掲示や令和2年度事業成果発表会の開催などにより、事業の成果や本県民税の意義について周知を図っています。

2-1) 啓発物品による広報

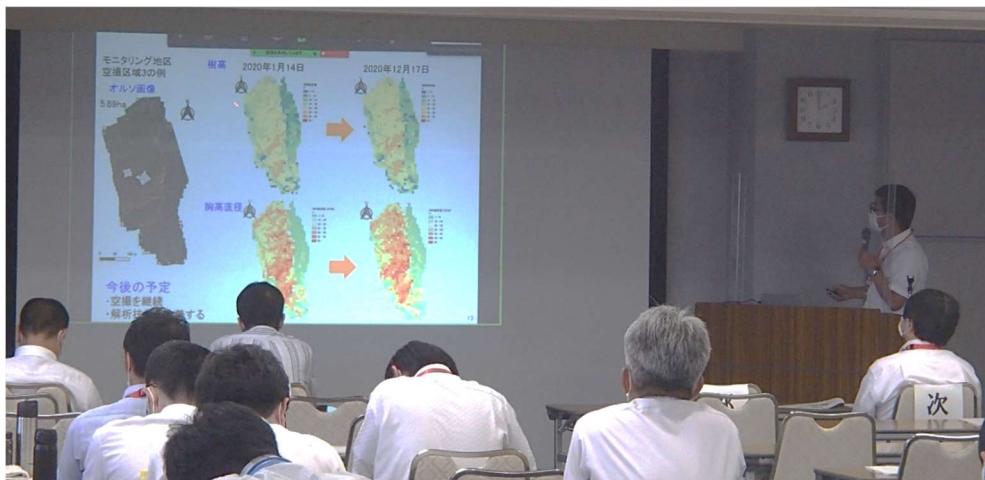
クリアフォルダやタオルハンカチ等の啓発物品を活用して、みえ森と緑の県民税の必要性と活用事例について広く県民に知っていただくための広報活動を行っています。

2-2) 事業成果の広報

① みえ森と緑の県民税令和2年度事業成果発表会の開催

事業実施担当者が、事業成果を直接県民に報告するとともに、市町間の情報共有を図り、市町交付金事業実施の一助とするため、事業成果発表会を開催しました。

- 1 日時 令和3年8月2日(月) 13時30分から16時30分
- 2 場所 三重県教育文化会館5階大会議室
- 3 発表内容 県事業4事業と6市町の事業成果



みえ森と緑の県民税令和2年度成果発表会

② みえ森と緑の県民税令和 2 年度事業成果報告書の作成

令和 2 年度事業成果を総括し、詳細に報告するため、みえ森と緑の県民税令和 2 年度事業成果報告書を作成・配布しました。

2-3) メディアを活用した広報

みえ森と緑の県民税の仕組みや取り組み内容を広く県民にわかりやすく紹介するため、みえ森と緑の県民税のプロモーション動画を制作しています。

作成した動画は、映画館での上映や SNS の活用による情報発信を予定しています。

また、FM ラジオを活用して、みえ森と緑の県民税の必要性や活用事例を紹介しました。

2-4) パネル展示等による広報

県施設等において、みえ森と緑の県民税 PR のためのパネル展示を行うとともに、アンケート調査をしています。

【パネル展示の計画及び実績】

所属	期間	場所	内容
四日市 農林事務所	R4.1.17～R4.1.28	四日市庁舎 1 階 県民ホール	パネル展示とアンケート調査
津農林 水産事務所	R4.1.11～R4.1.21	津庁舎 1 階 県民ホール	パネル展示とアンケート調査
松阪 農林事務所	R4.1.24～R4.2.7	松阪庁舎 1 階 ロビー	パネル展示とアンケート調査
伊勢農林 水産事務所	R3.4.1～R4.2.	伊勢庁舎 2 階 ロビー	パネル展示とアンケート調査
伊賀 農林事務所	R3.8.1～R3.8.31	伊賀庁舎 2 階 県民ホール	パネル展示とアンケート調査
	R4.1.15～R4.1.31		
	R4.2.22	マルタピア (原木市場)	パネル展示
尾鷲農林 水産事務所	R4.3.1～R4.3.9	尾鷲庁舎 県民ホール	パネル展示とアンケート調査
熊野 農林事務所	R3.12.24～R4.1.7	熊野庁舎 1 階 県民ホール	パネル展示とアンケート調査
みどり共生 推進課	R4.1.4～R4.1.28	三重県立図書館	パネル展示とアンケート調査
	R4.2.14～R4.2.18	県庁 1 階 県民ホール	パネル展示とアンケート調査



県立図書館におけるパネル展示の様子



伊勢庁舎におけるパネル展示の様子

3) 「みえ森と緑の県民税」の認知度

3-1) e-モニター制度の活用

e-モニター制度を活用し、みえ森と緑の県民税にかかるアンケート調査を実施しました。調査結果は、ホームページで公表しています。

【みえ森と緑の県民税に関するアンケート】

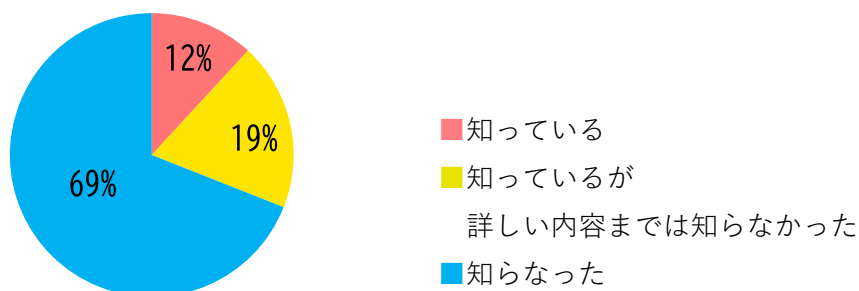
- 1 実施期間 令和3年8月4日から8月23日まで
- 2 回答率等 69.9% (回数者 826 人/対象者 1,182 人)
- 3 設問内容と回答結果

三重県では平成26年から「みえ森と緑の県民税」を導入し、個人は年額1,000円、法人は資本金額に応じた県民税均等割の10%相当額(年額2,000円～80,000円)を納めていただいています。

この「みえ森と緑の県民税」を活用して、県が災害緩衝林整備事業等の災害に強い森林づくりに取り組むとともに、市町が人家裏や通学路沿いの暮らしに身近な危険木の伐採、教育現場への木製備品の導入等地域に密着した取組を行っています。

あなたは、「みえ森と緑の県民税」をご存じですか。

「みえ森と緑の県民税」の認知度：全体割合 (%)



「みえ森と緑の県民税」の認知度：年代別回答数（人）

